

津島市ヤングケアラー実態調査

調査結果報告書

令和8年3月

津島市

- 目次 -

I. 調査概要.....	1
調査の目的.....	1
調査対象及び調査方法.....	1
回収結果.....	1
報告書の見方.....	1
II. 調査結果.....	3
1 基本情報.....	3
1-1 学校名及び年齢.....	3
1-2 就学・就労の状況（高校2年生世代）.....	3
2 ふだんの生活について.....	4
2-1 通勤・通学の状況.....	4
2-2 部活動等への参加状況.....	6
2-3 ふだんの学校生活等であてはまること.....	7
2-4 現在の悩みや困りごと.....	8
2-5 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無.....	10
3 家庭や家族のことについて.....	12
3-1 お世話をしている家族の有無.....	12
3-2 お世話の状況.....	13
3-3 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと.....	24
3-4 お世話をすることについて「辛い」と思うことの有無.....	26
3-5 お世話について相談したことの有無.....	27
3-6 お世話についての相談相手.....	28
3-7 お世話について相談していない理由.....	29
3-8 学校や周りの大人に助けてほしいことや必要な支援.....	30
4 ヤングケアラーについて.....	32
4-1 自身がヤングケアラーにあてはまると思うか.....	32
4-2 ヤングケアラーの認知度.....	33
5 クロス集計結果.....	34
5-1 小学5年生・中学2年生のクロス集計結果.....	34
6 自由意見.....	40
6-1 自由意見.....	40
III. 津島市のヤングケアラーの現状と結果の考察.....	41

IV. 使用調査票.....	46
1 小学5年生調査.....	46
2 中学2年生調査.....	57
3 高校2年生世代調査.....	67

I. 調査概要

調査の目的

このアンケート調査は、津島市内の小学5年生、中学2年生、高校2年生世代の生活実態や意識等を把握し、津島市におけるヤングケアラーの理解促進とその状況の把握、今後必要な支援施策へつなげることを目的として実施しました。

調査対象及び調査方法

調査対象者	津島市内在住の小学5年生、中学2年生、高校2年生世代
調査期間	令和7年9月9日～令和7年11月30日
調査方法	【小学5年生・中学2年生】 学校にて講話を受講後、ウェブ上で回答 【高校2年生世代】 調査票を郵送配布、ウェブ上で回答

回収結果

	小学5年生	中学2年生	高校2年生世代
配布数	428	448	571
有効回答数(率)	395 (92.3%)	393 (87.7%)	132 (23.1%)

報告書の見方

- ・ グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回答数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・ 集計表内の数値は、2段の場合は、上段が件数、下段が割合(%)を示し、1段の場合は、件数欄は件数、その他の欄は割合(%)を示しています。
- ・ 本文中で、回答率等の割合(%)については「高い」「低い」、件数等の実数については「多い」「少ない」の表現を使用しています。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略しています。また、選択肢等の文字数が長い場合に表記を簡略化してある場合があります。
- ・ クロス集計において、人数が極めて少ない層については、回答率の誤差が大きくなると考えられるため、分析から除外している場合があります。

- ・ 本報告書においては、国や愛知県の類似調査結果との比較分析を行っています。比較対象は、国の令和2年度「中高生の生活実態に関するアンケート調査」（中学2年生 n=5,558）、県の令和3年度「愛知県ヤングケアラー実態調査」（小学5年生 n=11,970、中学2年生 n=11,116）です。
※高校2年生世代については、国・県がいずれも全日制・定時制・通信制別の調査結果を示し、全体の結果を示していないため、比較分析は行っていません。
- ・ 国・県との比較においては、調査の配布数及び回答数について市と大きな乖離があることから、各選択肢の回答率の差ではなく、回答率の順位（降順）に着目してコメントしています。

II. 調査結果

1 基本情報

1-1 学校名及び年齢

問 あなたの小学校名（中学校名、年齢）を教えてください。（選択は1つ）
（小学5年生・中学2年生・高校2年生世代：問1）

- ▶ 小学校名、中学校名の内訳は下記のようになっています。
- ▶ 高校2年生世代は、「16歳」が47.7%、「17歳」が52.3%となっています。

図表 1-1 学校名及び年齢

小学校名									
件数	東小学校	西小学校	南小学校	北小学校	神守小学校	蛭間小学校	高台寺小学校	神島田小学校	
395	57	62	47	31	66	42	38	52	
100.0	14.4	15.7	11.9	7.8	16.7	10.6	9.6	13.2	

中学校名					高校2年生世代の年齢		
件数	天王中学校	藤浪中学校	神守中学校	暁中学校	件数	16歳	17歳
393	94	84	123	92	132	63	69
100.0	23.9	21.4	31.3	23.4	100.0	47.7	52.3

1-2 就学・就労の状況（高校2年生世代）

問 あなたの現在の状況を教えてください。（選択は1つ）
（高校2年生世代：問2）

- ▶ 「通学している」が93.2%を占め、「働いている」「通学しながら働いている」「家にいる」がいずれも2.3%となっています。

図表 1-2 就学・就労の状況

件数	通学している	働いている	通学しながら働いている	家にいる
132	123	3	3	3
100.0	93.2	2.3	2.3	2.3

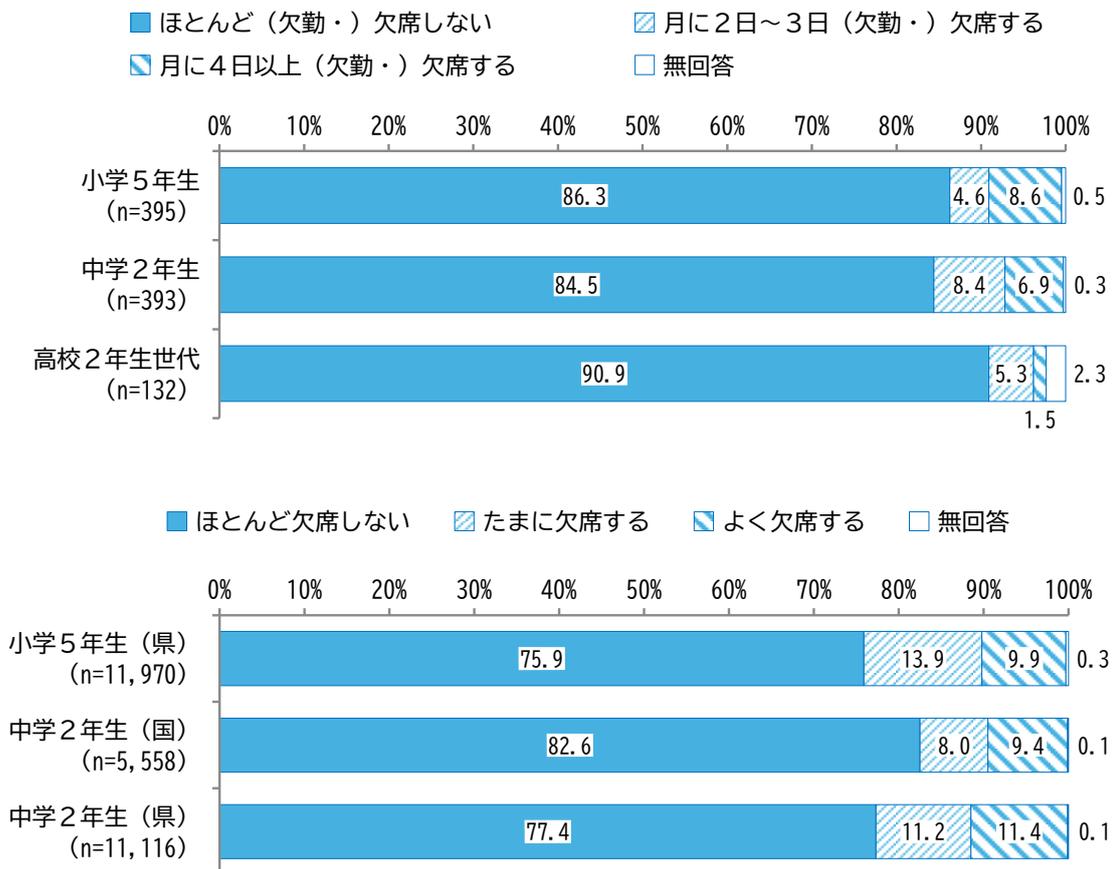
2 ふだんの生活について

2-1 通勤・通学の状況

問 通勤・通学状況等について教えてください。(選択は1つずつ)
 (小学5年生・中学2年生：問2、高校2年生世代：問3)

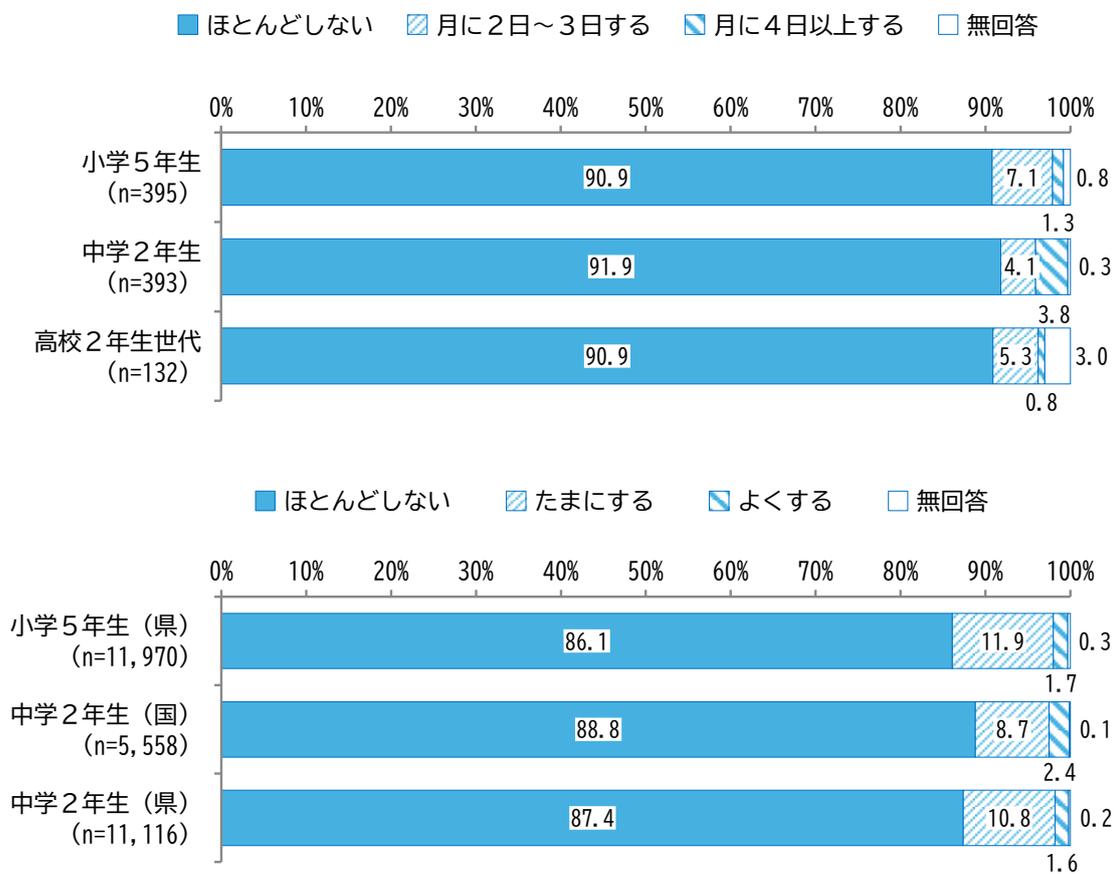
- ▶ 出勤・出席状況については、「ほとんど(欠勤・)欠席しない」は小学5年生で86.3%、中学2年生で84.5%、高校2年生世代で90.9%となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、「ほとんど欠席しない」に次いで高いのは、市で「月に4日以上欠席する」、県で「たまに欠席する」となっています。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、「ほとんど欠席しない」に次いで高いのは、市で「月に2日～3日欠席する」、国・県で「よく欠席する」となっています。

図表 2-1-1 出勤・出席状況



- 遅刻や早退の状況については、「ほとんどしない」は小学5年生で 90.9%、中学2年生で91.9%、高校2年生世代で 90.9%となっています。
- 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「ほとんどしない」「月に2日～3日する(たまにする)」「月に4日以上する(よくする)」の順で高く、選択肢の順位に差はみられませんでした。
- 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「ほとんどしない」「月に2日～3日する(たまにする)」「月に4日以上する(よくする)」の順で高く、選択肢の順位に差はみられませんでした。

図表 2-1-2 遅刻や早退の状況



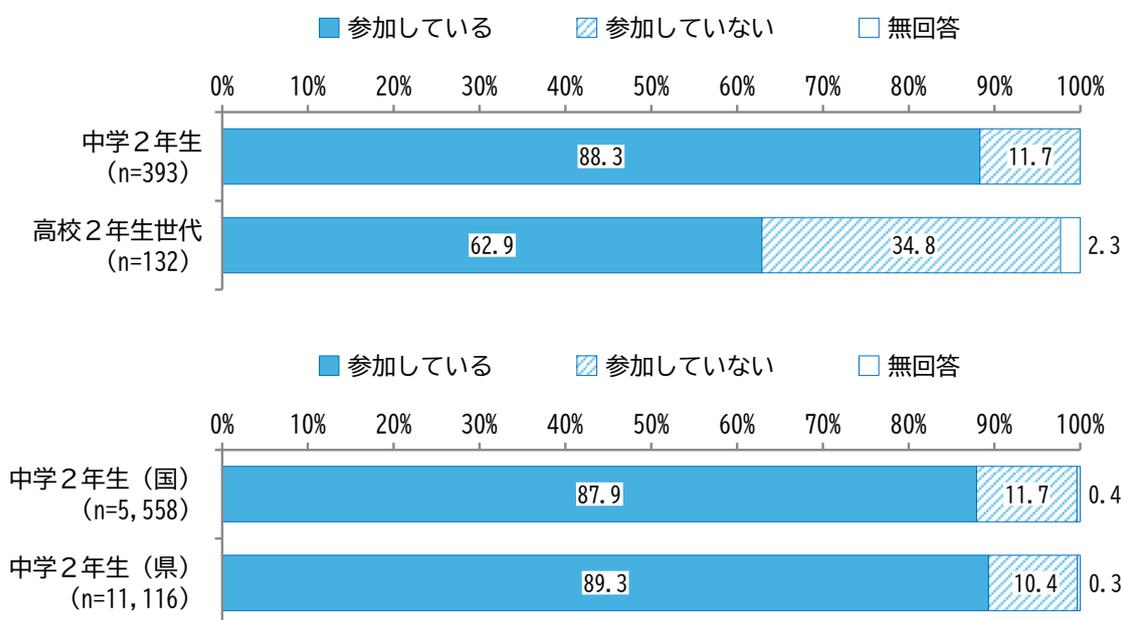
2-2 部活動等への参加状況

問 部活動（学校外での活動を含む）（または仕事以外の活動）に参加していますか。
（選択は1つ）

（中学2年生：問3、高校2年生世代：問4）

- 部活動または仕事以外の活動への参加については、「参加している」は中学2年生で88.3%、高校2年生世代で62.9%となっています。
- 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「参加している」が約9割で「参加していない」の約1割を大きく上回っており、大きな差はみられませんでした。

図表 2-2 部活動等への参加の有無

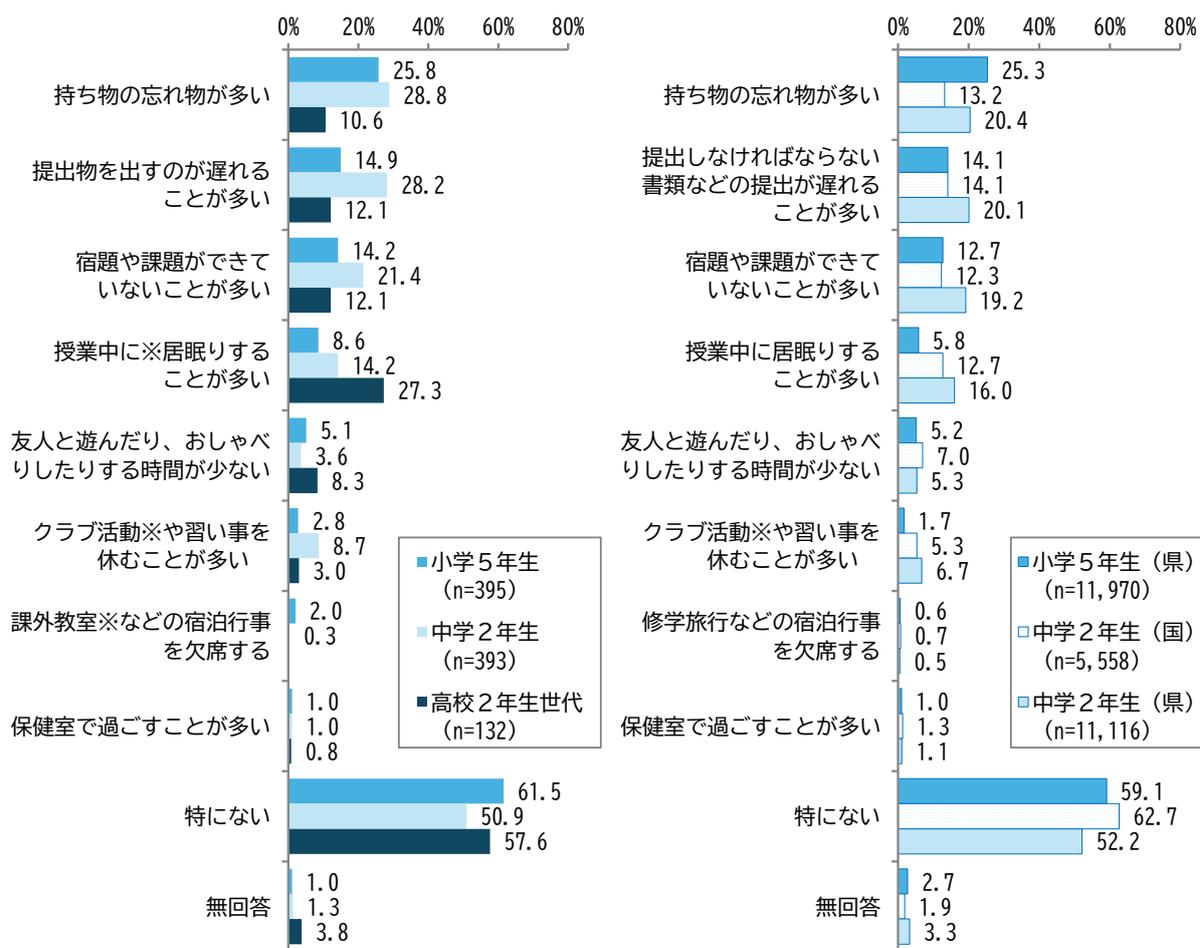


2-3 ふだんの学校生活等であてはまること

問 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。
 (選択はいくつでも)
 (小学5年生：問3、中学2年生：問4、高校2年生世代：問5)

- ▶ ふだんの学校生活等においてあてはまるものは、小学5年生・中学2年生では「持ち物の忘れ物が多い」(それぞれ 25.8%、28.8%)が、高校2年生世代では「居眠りすることが多い」(27.3%)が高くなっています。また、「特にない」は小学5年生で61.5%、中学2年生で50.9%、高校2年生世代で57.6%となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、大きな差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、国・県でも「特にない」が過半数を占め、「持ち物の忘れ物が多い」「提出が遅れることが多い」が上位となっており、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。

図表 2-3 ふだんの学校生活等であてはまること



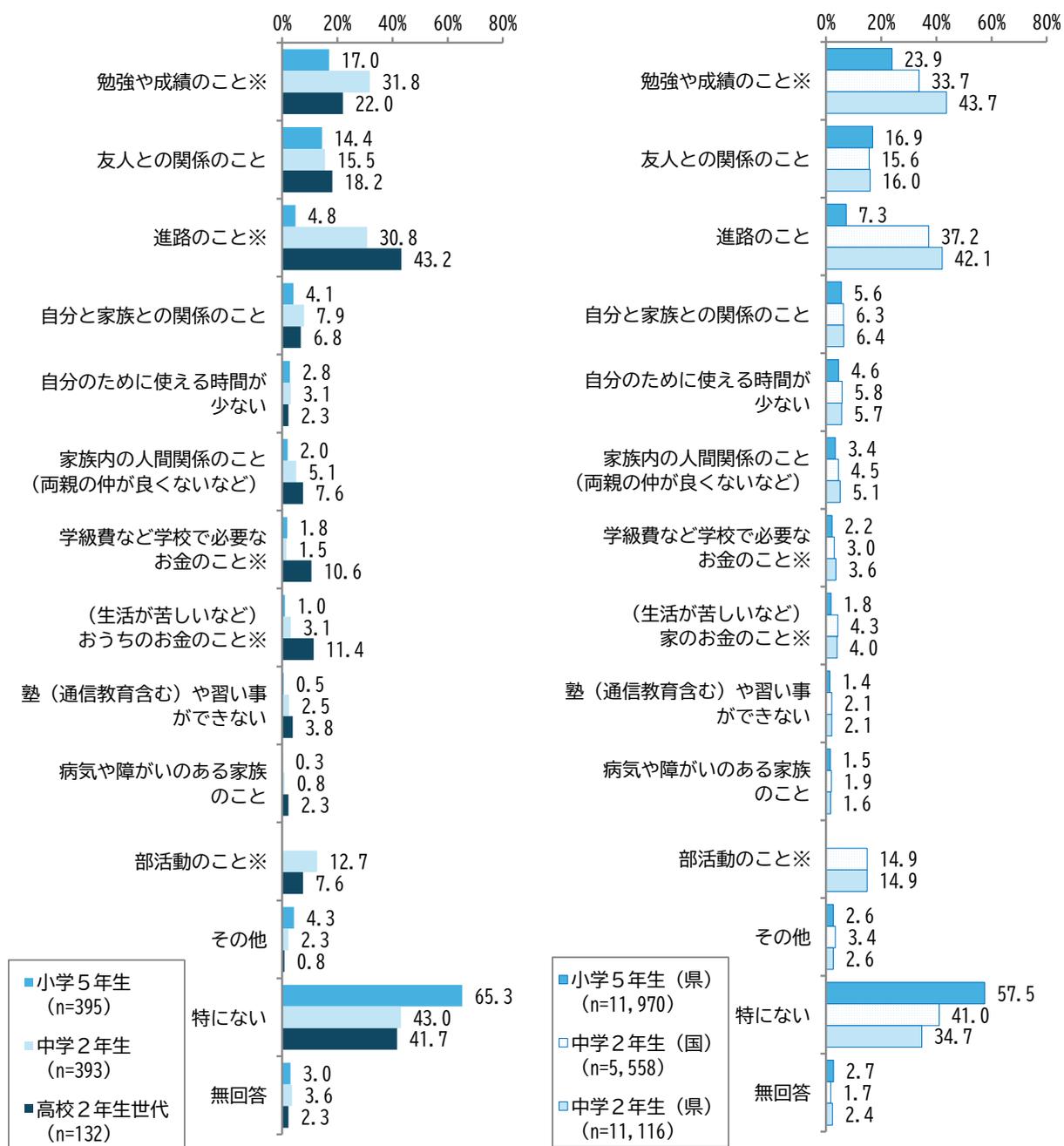
※「授業中に」は高校生世代では「仕事場や学校で」、「クラブ活動」は中高生では「部活動」、
 「課外教室」は高校生世代では「修学旅行」
 ※国・県の調査では他に「学校では1人で過ごすことが多い」の選択肢があります。

2-4 現在の悩みや困りごと

問 現在、悩んだり困っていることはありますか。(選択はいくつでも)
(小学5年生：問4、中学2年生：問5、高校2年生世代：問6)

- 現在の悩みや困りごとは、小学5年生では「特にない」(65.3%)が最も高く、次いで「勉強や成績のこと」(17.0%)となっています。また、中学2年生では「特にない」(43.0%)、「学業成績のこと」(31.8%)の順で高く、高校2年生世代では「将来や進路のこと」(43.2%)、「特にない」(41.7%)の順で高くなっています。
- 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「特にない」「勉強や成績のこと」「友人との関係のこと」の順で高く、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。
- 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「特にない」「勉強や成績のこと」「進路のこと」が3割以上と高くなっています。

図表 2-4 現在の悩みや困りごと



※「勉強や成績のこと」は市の中高生及び国では「学業成績のこと」、「進路のこと」は高校生世代では「将来や進路のこと」、「学級費など学校で必要なお金のこと」は中高生では「学費 (授業料) など学校生活に必要なお金のこと」、「(生活が苦しいなど) おうち (家) のお金のこと」は中高生では「家庭の経済的状況のこと」、「部活動のこと」は中高生のみ

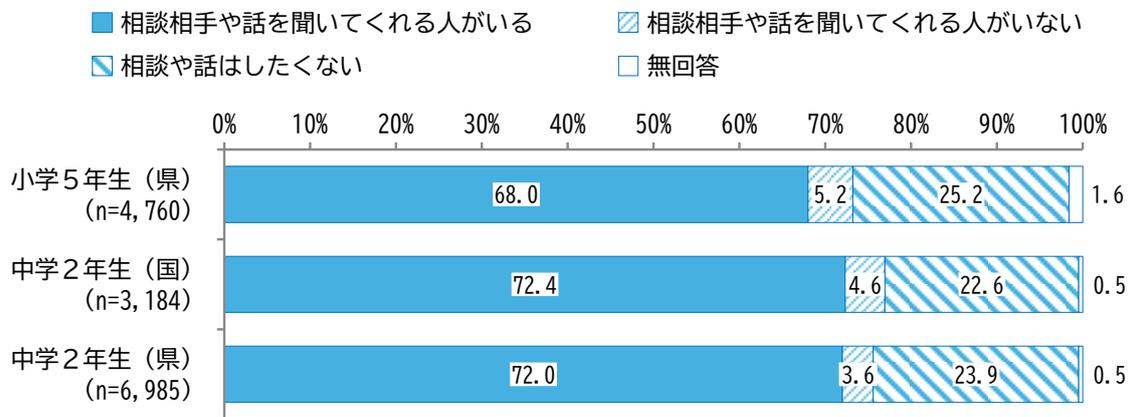
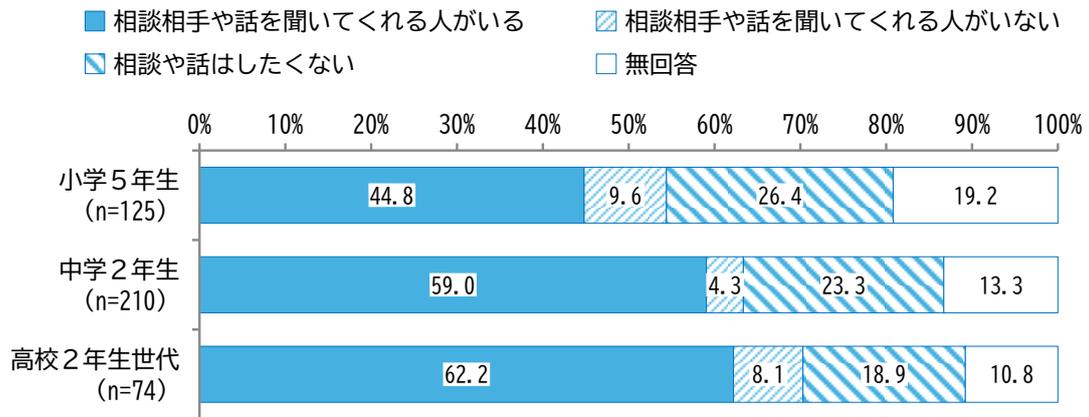
2-5 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

問 悩みや困りごとについて「特にない」以外を回答した方にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。
(選択は1つ)

(小学5年生：問5、中学2年生：問6、高校2年生世代：問7)

- 悩みや困りごとがある人の相談相手の有無は、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」は小学5年生で44.8%、中学2年生で59.0%、高校2年生世代で62.2%となっています。
- 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」「相談や話はしたくない」「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」の順で高く、選択肢の順位に差はみられませんでした。
- 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」「相談や話はしたくない」「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」の順で高く、選択肢の順位に差はみられませんでした。

図表 2-5 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無



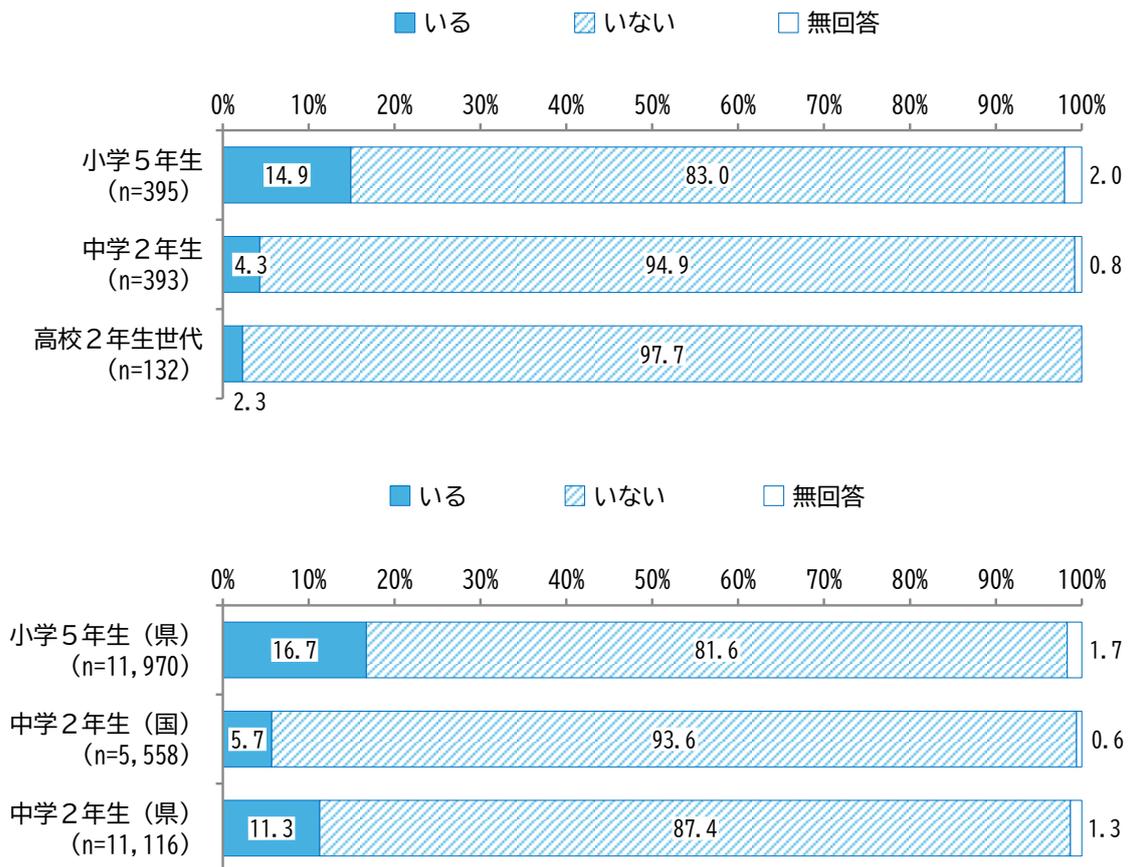
3 家庭や家族のことについて

3-1 お世話をしている家族の有無

問 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(選択は1つ)
 (小学5年生：問6、中学2年生：問7、高校2年生世代：問8)

- ▶ 家族の中で自身がお世話をしている人の有無は、「いる」が小学5年生で14.9%(59人)、中学2年生で4.3%(17人)、高校2年生世代で2.3%(3人)となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「いない」が約8割を占めており、大きな差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「いない」が8～9割以上を占めており、大きな差はみられませんでした。

図表 3-1 お世話をしている家族の有無

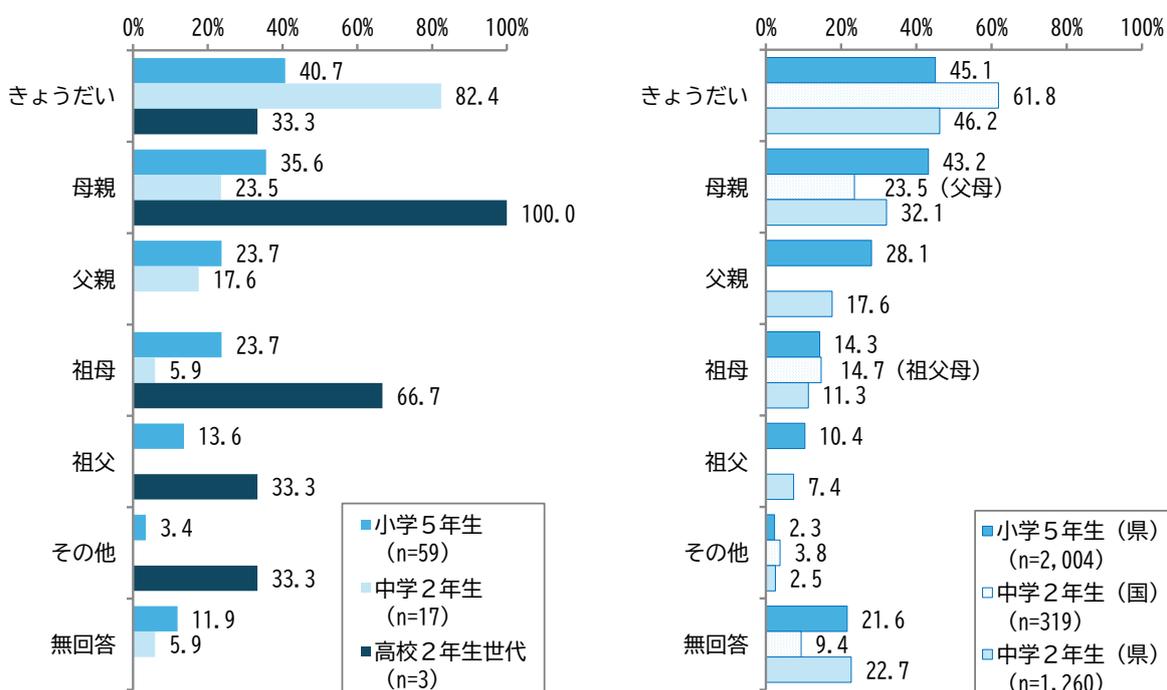


3-2 お世話の状況

問 家族の中にあなたがお世話をしている人が「いる」と回答した方にお聞きします。
お世話の状況についてお教えてください。
①お世話を必要としている方（選択はいくつでも）
(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- お世話を必要としている人は、小学5年生では「きょうだい」(40.7%)が最も高く、次いで「母親」(35.6%)となっています。また、中学2年生でも「きょうだい」(82.4%)が最も高く、次いで「母親」(23.5%)となっています。高校2年生世代では「母親」(100.0%)、「祖母」(66.7%)の順で高くなっています。
- 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「きょうだい」「母親」「父親」の順で高く、大きな差はみられませんでした。
- 中学2年生について国・県と比べると、市・県ともに「きょうだい」「母親」「父親」の順で高く、国では「きょうだい」「父母」「祖父母」の順で高くなっており、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。

図表 3-2-1 お世話を必要としている人



※国の調査では「母親」と「父親」は「父母」、「祖母と祖父」は「祖父母」の選択肢

②お世話を必要としている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。①で「母親」あるいは「父親」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- ▶ 父母のお世話の内容は、小学5年生では「家事」(59.1%)が最も高く、次いで「外出の付き添い」「感情面のサポート」(ともに45.5%)、「薬の管理」「通院の付き添い」(ともに31.8%)となっています。中学2年生では「家事」「外出の付き添い」「金銭管理」(いずれも75.0%)が最も高くなっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、「家事」「外出の付き添い」に次いで県では「見守り」「お金の管理」、市では「感情面のサポート」「薬の管理」「通院の付き添い」が高くなっています。

図表 3-2-2 お世話の内容【父母】

	件数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	薬の管理	通院の付き添い	見守り	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	その他	無回答
小学5年生	22 100.0	13 59.1	10 45.5	10 45.5	7 31.8	7 31.8	6 27.3	6 27.3	4 18.2	2 9.1	1 4.5	7 11.9
中学2年生	4 100.0	3 75.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	-	-	3 75.0	-	-
高校2年生世代	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3

	件数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	薬の管理	通院の付き添い	見守り	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	通訳(日本語や手話など)	お金の管理※	その他	無回答
小学5年生(県)	890	79.8	49.4	24.4	21.3	15.1	38.2	18.3	9.6	33.6	4.0	6.1
中学2年生(国)	75	73.3	38.7	22.7	5.3	10.7	24.0	17.3	8.0	12.0	2.7	9.3
(県)	429	73.7	42.9	31.2	9.3	10.7	19.1	9.8	13.8	14.7	3.7	5.1

※「お金の管理」は国の調査では「金銭管理」

b) お世話を必要としている母親・父親の状況を教えてください。(選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- ▶ お世話を必要としている父母の状況は、小学5年生では「わからない」(68.2%)が最も高く、次いで「日本語を話したり書いたりすることが難しい」(13.6%)となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「わからない」が6割以上で最も高くなっており、大きな差はみられませんでした。

図表 3-2-3 お世話を必要としている人の状況【父母】

	件数	日本語を話したり書いたりすることが難しい	身体障がい	※精神疾患(疑い含む)	要介護(介護が必要な状態)	認知症(物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている)	65歳以上	知的障がい	その他	わからない	無回答
小学5年生	22 100.0	3 13.6	1 4.5	1 4.5	1 4.5	1 4.5	-	-	1 4.5	15 68.2	2 9.1
中学2年生	4 100.0	2 50.0	-	-	-	-	-	-	2 50.0		1 25.0
高校2年生世代	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-		2 66.7

	件数	日本語を話したり書いたりすることが難しい	身体障がい	※精神疾患(疑い含む)	要介護(介護が必要な状態)	認知症	高齢(65歳以上)	知的障がい	その他	わからない	無回答
小学5年生(県)	890		2.2	1.6	1.3	0.7	1.3	0.4	9.1	62.0	...
中学2年生(国)	75		20.0	17.3	6.7	5.3	13.3	5.3	18.7		32.0
(県)	429		5.8	4.0	1.4	0.7	2.1	1.4	17.2		...

※「精神疾患(疑い含む)」は市の小学生では「こころの病気」、国では「精神疾患、依存症(疑い含む)」の割合を掲載

※県の調査の無回答の割合は不明

※国の調査では他に「精神疾患、依存症以外の病気」、県の調査では他に「依存症(疑い含む)」「精神疾患・依存症以外の病気」の選択肢があります。

①で「祖母」あるいは「祖父」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- ▶ 祖父母のお世話の内容は、小学5年生では「家事」(58.8%)が最も高く、次いで「外出の付き添い」「感情面のサポート」「通院の付き添い」(いずれも23.5%)となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、県では「家事」に次いで「見守り」が高くなっており、市で「通院の付き添い」の順位が高くなっています。

図表 3-2-4 お世話の内容【祖父母】

	件数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	通院の付き添い	見守り	薬の管理	金銭管理	通訳(日本語や手話など)	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	その他	無回答
小学5年生	17 100.0	10 58.8	4 23.5	4 23.5	4 23.5	3 17.6	3 17.6	2 11.8	2 11.8	1 5.9	3 17.6	1 5.9
中学2年生	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高校2年生世代	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0

	件数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	通院の付き添い	見守り	薬の管理	お金の管理※	通訳(日本語や手話など)	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	その他	無回答
小学5年生(県)	335	51.3	44.8	22.4	13.7	51.0	17.9	19.1	6.6	18.2	2.4	11.9
中学2年生(国)	47	42.6	40.4	29.8	4.3	57.4	14.9	10.6	2.1	14.9	4.3	8.5
(県)	168	36.9	41.1	28.0	14.3	45.8	7.7	6.0	5.4	19.0	4.8	9.5

※「お金の管理」は国の調査では「金銭管理」

b) お世話を必要としている祖母・祖父の状況を教えてください。(選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- ▶ お世話を必要としている祖父母の状況は、小学5年生では「65歳以上」(70.6%)が最も高く、次いで「わからない」(29.4%)、「認知症」(11.8%)となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「65歳以上」「わからない」「認知症」の順で高く、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。

図表 3-2-5 お世話を必要としている人の状況【祖父母】

	件数	65歳以上	認知症(物覚えが弱くなっている)	要介護(介護が必要な状態)	身体障がい	※精神疾患(疑い含む)	知的障がい	日本語を話したり書いたりすることが難しい	その他	わからない	無回答
小学5年生	17 100.0	12 70.6	2 11.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	- -	- -	1 5.9	5 29.4	- -

	件数	高齢(65歳以上)	認知症	要介護(介護が必要な状態)	身体障がい	※精神疾患(疑い含む)	知的障がい	日本語を話したり書いたりすることが難しい	その他	わからない	無回答
小学5年生(県)	335	59.7	8.1	7.2	5.1	1.2	2.4		3.9	26.9	...
中学2年生(国)	47	80.9	19.1	27.7	17.0	8.5	6.4		6.4		8.5
(県)	168	71.4	17.9	17.3	10.7	2.4	1.2		7.1		...

※市の中高生の回答はありませんでした。

※「精神疾患(疑い含む)」は市の小学生では「こころの病気」、国では「精神疾患、依存症(疑い含む)」の割合を掲載

※県の調査の無回答の割合は不明

※国の調査では他に「精神疾患、依存症以外の病気」、県の調査では他に「依存症(疑い含む)」「精神疾患・依存症以外の病気」の選択肢があります。

①で「きょうだい」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- きょうだいのお世話の内容は、小学5年生では「身体的な介護」(45.8%)が最も高く、次いで「家事」「感情面のサポート」(ともに25.0%)となっています。中学2年生では「見守り」(64.3%)が最も高く、次いで「家事」(57.1%)、「外出の付き添い」(35.7%)となっています。
- 小学5年生について県と比べると、県では「見守り」「家事」「外出の付き添い」の順で高くなっており、市で「身体的な介護」「感情面のサポート」の順位が高くなっています。
- 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「見守り」「家事」の順で高くなっており、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。

図表 3-2-6 お世話の内容【きょうだい】

	件数	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	家事(洗濯除、食事の準備や掃除)	なるを聞く、話し相手になるなど)	感情面のサポート(愚痴を聞き、話し相手に)	見守り	物、外出の付き添い(買物、散歩など)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	通院の付き添い	薬の管理	金銭管理	通訳(日本語や手話など)	その他	無回答
小学5年生	24 100.0	11 45.8	6 25.0	6 25.0	5 20.8	4 16.7	4 16.7	4 16.7	2 8.3	1 4.2	1 4.2	5 20.8	3 12.5	
中学2年生	14 100.0	2 14.3	8 57.1	1 7.1	9 64.3	5 35.7	4 28.6	-	-	-	-	1 7.1	1 7.1	

	件数	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	家事(洗濯除、食事の準備や掃除)	なるを聞く、話し相手になるなど)	感情面のサポート(愚痴を聞き、話し相手に)	見守り	物、外出の付き添い(買物、散歩など)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	通院の付き添い	薬の管理	お金の管理※	通訳(日本語や手話など)	その他	無回答
小学5年生(県)	904	12.9	25.9	16.4	56.2	24.6	17.3	2.9	3.0	6.1	2.4	6.9	9.2	
中学2年生(国)	197	20.8	37.6	21.3	68.0	21.3	34.0	2.0	3.0	2.5	3.0	5.1	5.1	
(県)	582	17.2	32.0	24.2	56.7	29.0	25.8	2.9	3.3	2.2	2.1	2.4	6.0	

※市の高校生世代の回答はありませんでした。

※「お金の管理」は国の調査では「金銭管理」

b) お世話を必要としているきょうだいの状況を教えてください。(選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- ▶ お世話を必要としているきょうだいの状況は、小学5年生では「幼い」(50.0%)が最も高く、次いで「わからない」(25.0%)となっています。中学2年生では「幼い」(71.4%)が最も高く、次いで「日本語を話したり書いたりすることが難しい」(21.4%)となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「幼い」「わからない」の順で高く、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「幼い」が最も高くなっています。

図表 3-2-7 お世話を必要としている人の状況【きょうだい】

	件数	幼い	知的障がい	状態 要介護（介護が必要な状態）	※精神疾患（疑い含む）	た日本語を話したり書いたりすることが難しい	身体障がい	認知症（物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている）	その他	わからない	無回答
小学5年生	24 100.0	12 50.0	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	-	-	5 20.8	6 25.0	-
中学2年生	14 100.0	10 71.4	-	-	1 7.1	3 21.4	-	-	1 7.1		1 7.1

	件数	幼い	知的障がい	状態 要介護（介護が必要な状態）	※精神疾患（疑い含む）	た日本語を話したり書いたりすることが難しい	身体障がい	認知症	その他	わからない	無回答
小学5年生（県）	904	43.7	1.7	0.9	0.1		0.9	0.2	6.5	33.8	...
中学2年生（国）	197	73.1	14.7		4.6		5.6		5.6		9.6
（県）	582	58.6	7.9	0.7	1.4		2.4	0.2	8.1		...

※市の高校生世代の回答はありませんでした。

※「精神疾患（疑い含む）」は市の小学生では「こころの病気」、国では「精神疾患、依存症（疑い含む）」の割合を掲載

※県の調査の無回答の割合は不明

※国の調査では他に「精神疾患、依存症以外の病気」、県の調査では他に「依存症（疑い含む）」「精神疾患・依存症以外の病気」の選択肢があります。

①で「その他」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

➤ その他の家族に対するお世話の内容については、小学5年生では「家事」「通院の付き添い」「感情面のサポート」「見守り」「その他」に回答がありました。

図表 3-2-8 お世話の内容【その他】

	件数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	外出の付き添い(買物、散歩など)	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
小学5年生	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	-

※市の中高生の回答はありませんでした。

b) お世話を必要としている方の状況を教えてください。(選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

➤ お世話を必要としているその他の家族の状況については、小学5年生では「日本語を話したり書いたりすることが難しい」「身体障がい」「わからない」に回答がありました。

図表 3-2-9 お世話を必要としている人の状況【その他】

	件数	日本語を話したり書いたりすることが難しい	身体障がい	65歳以上	幼い	状態)要介護(介護が必要な)	認知症	知的障がい	こころの病気	その他	わからない	無回答
小学5年生	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	-

※市の中高生の回答はありませんでした。

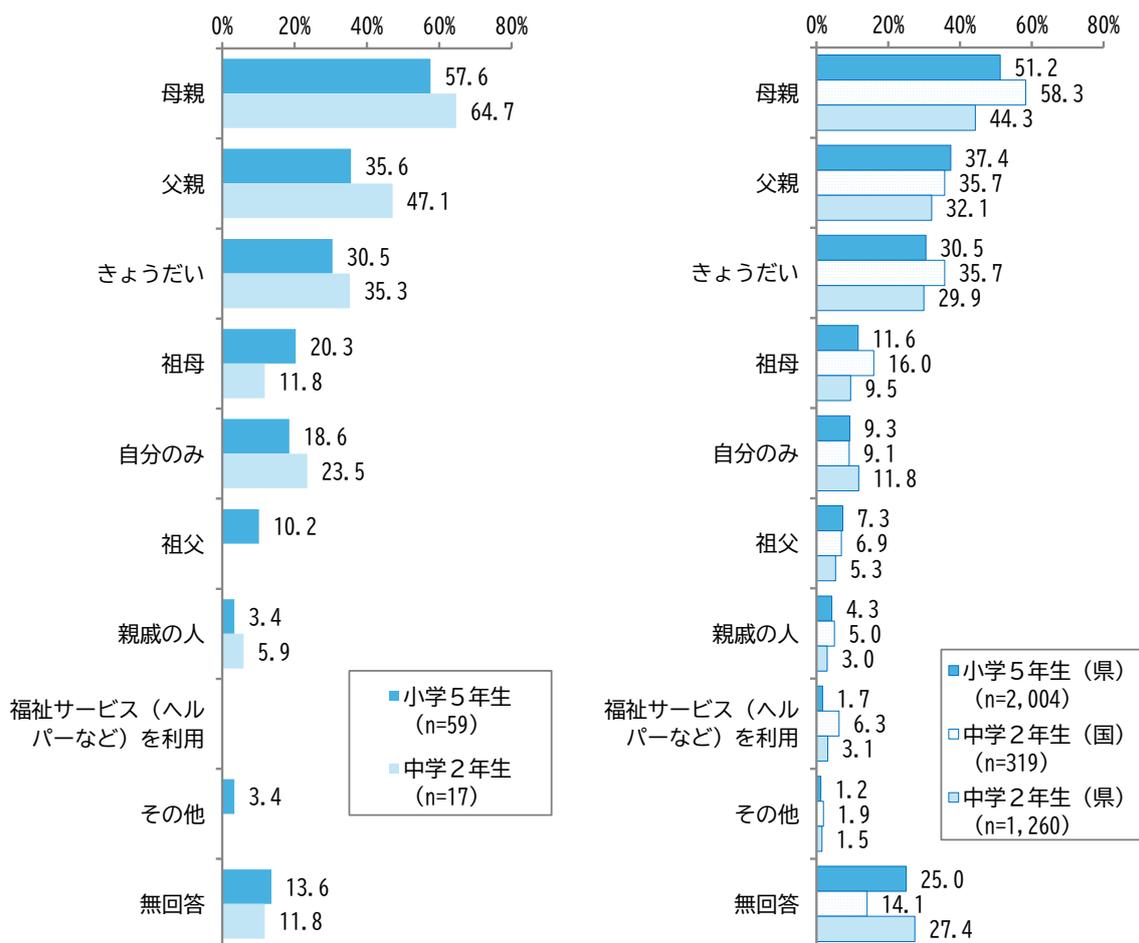
③～⑤は、お世話をしている人が2人以上いる場合、全員まとめて教えてください。

③お世話は誰と行っていますか。(選択はいくつでも)

(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- ▶ お世話を一緒にしている人は、小学5年生では「母親」(57.6%)が最も高く、次いで「父親」(35.6%)、「きょうだい」(30.5%)、「祖母」(20.3%)となっています。中学2年生では「母親」(64.7%)が最も高く、次いで「父親」(47.1%)、「きょうだい」(35.3%)、「自分のみ」(23.5%)となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「母親」「父親」「きょうだい」「祖母」の順で高くなっており、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「母親」「父親」「きょうだい」の順で高くなっており、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。

図表 3-2-10 お世話を一緒にしている人



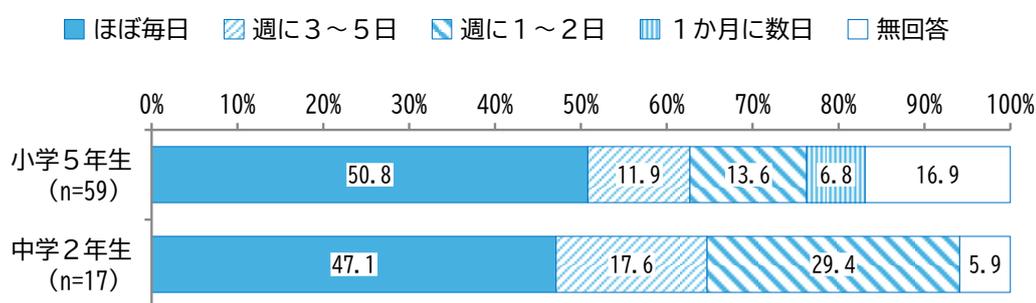
※市の高校生世代は回答数が少ないため、掲載していません。

④お世話をしている頻度を教えてください。(選択は1つ)

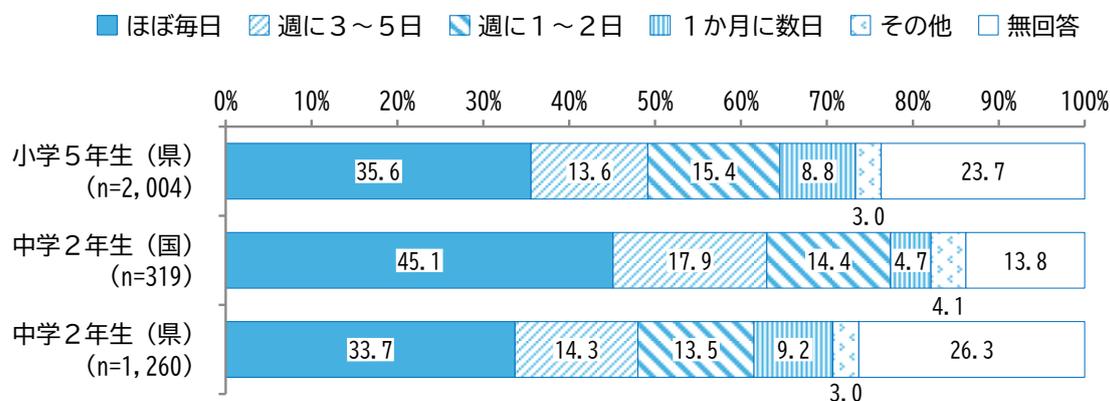
(小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9)

- ▶ お世話をしている頻度は、小学5年生・中学2年生ともに「ほぼ毎日」が最も高く、次いで「週に1～2日」「週に3～5日」となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「ほぼ毎日」が最も高く、選択肢の順位に差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、「ほぼ毎日」に次いで国・県では「週に3～5日」が高くなっています。

図表 3-2-11 お世話をしている頻度



※市の高校生世代は回答数が少ないため、掲載していません。

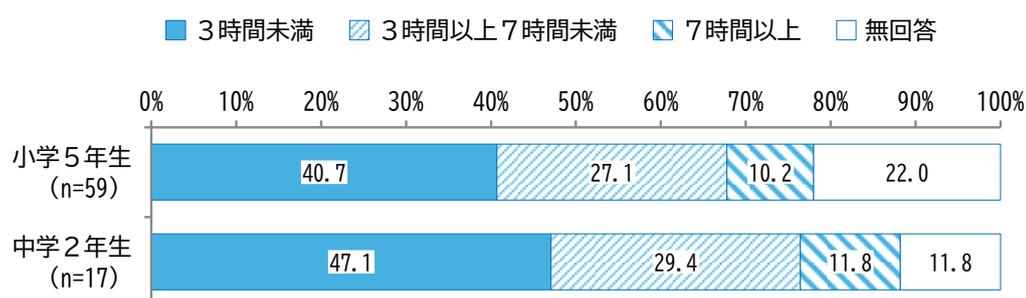


⑤平日（学校や仕事がある日）にお世話はどれくらい行っていますか。

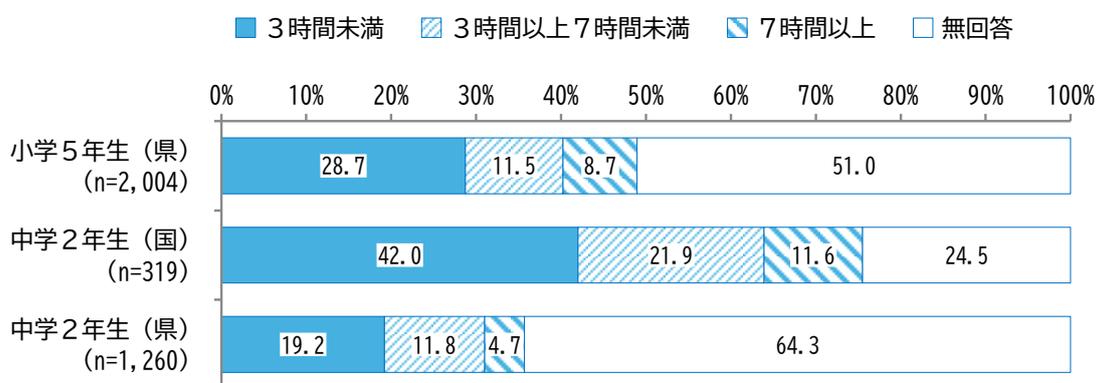
（小学5年生：問7、中学2年生：問8、高校2年生世代：問9）

- お世話をしている時間は、小学5年生・中学2年生ともに「3時間未満」が40%台で最も高く、次いで「3時間以上7時間未満」「7時間以上」となっています。
- 小学5年生について県と比べると、選択肢の順位に差はみられませんでした。
- 中学2年生について国・県と比べると、選択肢の順位に差はみられませんでした。

図表 3-2-12 お世話をしている時間（平日1日あたり）



※市の高校生世代は回答数が少ないため、掲載していません。



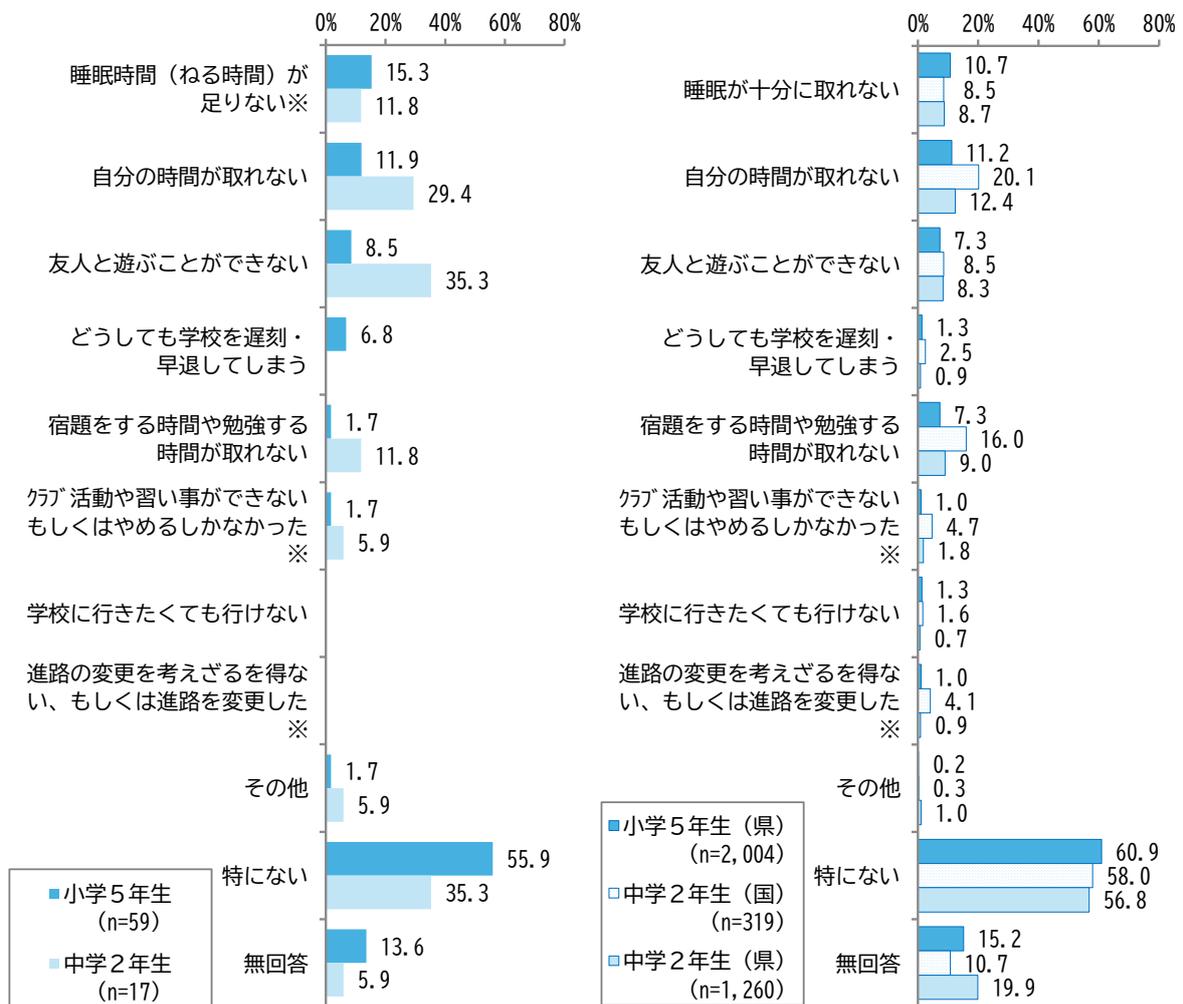
3-3 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと ……………

問 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。
(選択はいくつでも)

(小学5年生：問8、中学2年生：問9、高校2年生世代：問10)

- お世話をしていることで、やりたいけどできていないことは、小学5年生では「特
にない」(55.9%)が最も高く、次いで「睡眠時間(ねる時間)が足りない」(15.3%)、
「自分の時間が取れない」(11.9%)、「友人と遊ぶことができない」(8.5%)となっ
ています。中学2年生では「友人と遊ぶことができない」「特にない」(ともに35.3%)
が最も高く、次いで「自分の時間が取れない」(29.4%)となっています。
- 小学5年生について県と比べると、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。
- 中学2年生について国・県と比べると、国・県では「特にない」「自分の時間が取れ
ない」「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」の順で高くなっており、市で「友
人と遊ぶことができない」の順位が高くなっています。

図表 3-3 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと



※市の高校生世代は回答数が少ないため、掲載していません。

※「睡眠時間（ねる時間）が足りない」は中高生では「睡眠が十分に取れない」、「クラブ活動や習い事ができない、もしくはやめるしかなかった」は中高生では「部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった」

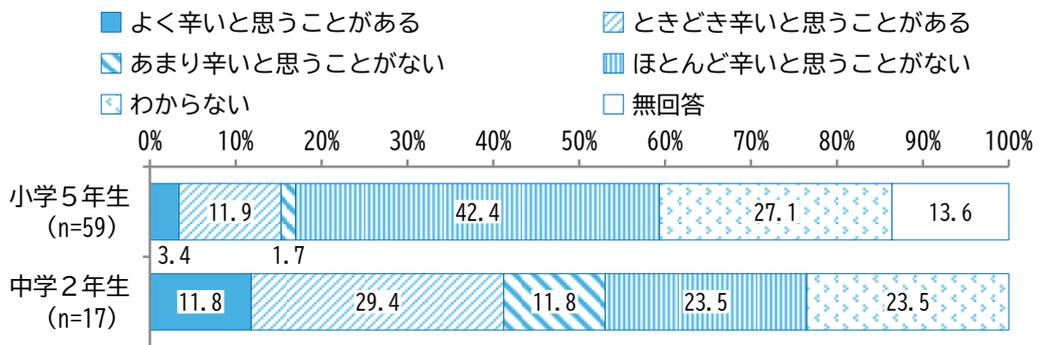
※「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」は市では中高生のみ、県の小学生では「進路の変更を考えた」

3-4 お世話をすることについて「辛い」と思うことの有無 ……………

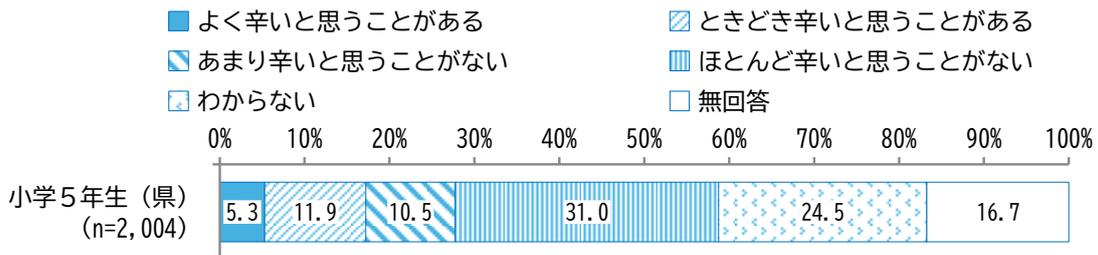
問 お世話をすることに辛さを感じていますか。(選択は1つ)
 (小学5年生：問9、中学2年生：問10、高校2年生世代：問11)

- お世話をすることについて「辛い」と思うことの有無は、小学5年生では「ほとんど辛いと思うことがない」(42.4%)が最も高く、『辛いと思うことがある』(「よく辛いと思うことがある」「ときどき辛いと思うことがある」の計)は15.3%、中学2年生では「ときどき辛いと思うことがある」(29.4%)が最も高く、『辛いと思うことがある』は41.2%となっています。
- 小学5年生について県と比べると、選択肢の順位及び『辛いと思うことがある』『辛いと思うことがない』の割合に大きな差はみられませんでした。

図表 3-4 お世話をすることについて「辛い」と思うことの有無



※市の高校生世代は回答数が少ないため、掲載していません。



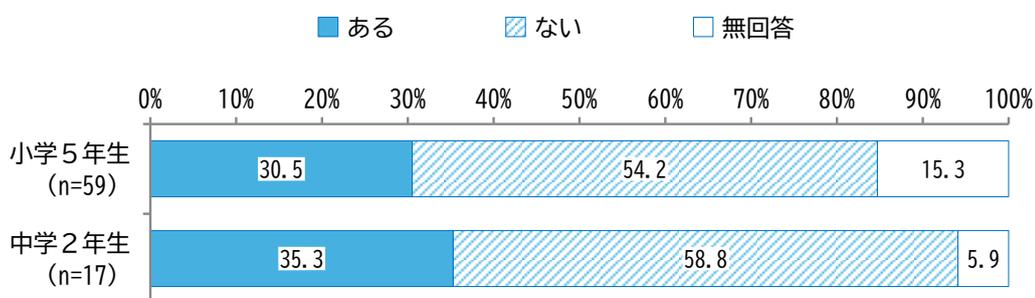
3-5 お世話について相談したことの有無

問 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(選択は1つ)

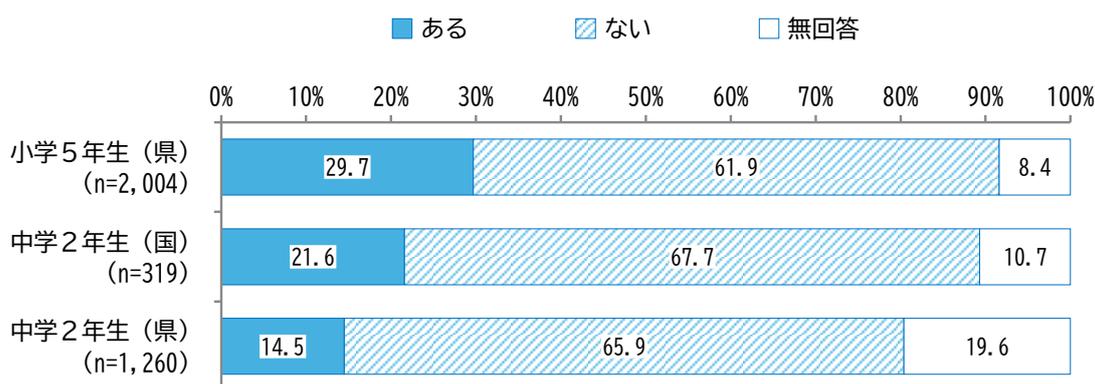
(小学5年生：問10、中学2年生：問11、高校2年生世代：問12)

- ▶ お世話について相談したことの有無は、小学5年生・中学2年生ともに「ない」が50%台を占め、「ある」が30%台となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「ない」が過半数を占めて「ある」を大きく上回っており、差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「ない」が過半数を占めて「ある」を大きく上回っており、差はみられませんでした。

図表 3-5 お世話について相談したことの有無



※市の高校生世代は回答がないため、掲載していません。



3-6 お世話についての相談相手

問 相談したことが「ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。
 (選択はいくつでも)
 (小学5年生：問 11、中学2年生：問 12、高校2年生世代：問 13)

- ▶ お世話についての相談相手は、小学5年生では「家族」(88.9%)が最も高く、次いで「友人」(27.8%)、「学校の先生」(16.7%)となっています。中学2年生では「家族」「友人」「学校の先生」(いずれも 83.3%)が最も高くなっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「家族」「友人」「学校の先生」の順で高く、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「家族」「友人」「学校の先生」の順で高く、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。

図表 3-6 お世話についての相談相手

	件数	家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)	友人	学校の先生(保健室の先生以外)	ワンセラー	スクールソーシャルカ	保健室の先生	親戚(おじ、おばなど)	近所の人	塾や家庭教師、習い事の先生	SNS上での知り合い	学校の先輩	電話相談(チャイルドラインあいちなど)	病院の人	医師や看護師、その他	福祉サービスの人	ヘルパーやケアマネ、	役所や保健センターの人	その他
小学5年生	18 100.0	16 88.9	5 27.8	3 16.7	2 11.1	2 11.1	1 5.6	1 5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中学2年生	6 100.0	5 83.3	5 83.3	5 83.3	-	-	2 33.3	1 16.7	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-

	件数	家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)	友人	学校の先生(保健室の先生以外)	ワンセラー	スクールソーシャルカ	保健室の先生	親戚(おじ、おばなど)	近所の人	塾や家庭教師、習い事の先生	SNS上での知り合い	学校の先輩	電話相談(チャイルドラインあいちなど)	病院の人	医師や看護師、その他	福祉サービスの人	ヘルパーやケアマネ、	役所や保健センターの人	その他	無回答
小学5年生(県)	595	84.0	44.9	21.2	3.5	3.4	9.2	2.2	4.2	2.2	-	1.8	1.5	1.3	0.3	0.5	3.2			
中学2年生(国)	69	69.6	40.6	13.0	7.2	4.3	8.7	1.4	-	7.2	-	-	1.4	1.4	0.0	1.4	1.4			
(県)	183	71.6	47.0	17.5	3.8	3.8	10.4	2.2	3.8	5.5	3.3	2.2	2.2	0.0	0.5	1.6	2.2			

※市の高校生世代は回答がないため、掲載していません。

※県の調査では他に「学習支援、子ども食堂などの人」の選択肢があります。

3-7 お世話について相談していない理由 ……………

問 相談したことが「ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。(選択はいくつでも)
 (小学5年生：問 12、中学2年生：問 13、高校2年生世代：問 14)

- ▶ お世話について相談していない理由は、小学5年生では「誰かに相談するほどの悩みではない」(75.0%)が最も高く、次いで「家族外の人に相談するような悩みではない」(28.1%)、「家族のこのため話しにくい・話しづらい」(18.8%)となっています。中学2年生では「誰かに相談するほどの悩みではない」(60.0%)が最も高く、次いで「相談しても状況が変わるとは思わない」(30.0%)、「家族外の人に相談するような悩みではない」(20.0%)となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、市・県ともに「誰かに相談するほどの悩みではない」「家族外の人に相談するような悩みではない」「家族のこのため話しにくい・話しづらい」の順で高く、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、市・国・県のいずれも「誰かに相談するほどの悩みではない」「相談しても状況が変わるとは思わない」「家族外の人に相談するような悩みではない」の順で高く、大きな差はみられませんでした。

図表 3-7 お世話について相談していない理由

	件数	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するようない	家族のこのため話しにくい	相談しても状況が変わるとは思わない	誰かに相談するのがよいかかわらない	こい(家族の病気が障りがたくな)	家族のことを知られたくない	相談できる人が身近にいない	その他	無回答
小学5年生	32 100.0	24 75.0	9 28.1	6 18.8	5 15.6	4 12.5	4 12.5	1 3.1	3 9.4	-	-
中学2年生	10 100.0	6 60.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	-	-	-	1 10.0	-	1 10.0

	件数	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するようない	家族のこのため話しにくい	相談しても状況が変わるとは思わない	誰かに相談するのがよいかかわらない	こい(家族の病気が障りがたくな)	家族のことを知られたくない	相談できる人が身近にいない	その他	無回答
小学5年生(県)	1,241	63.8	14.3	10.8	7.8	8.3	2.3	3.1	3.6	18.2	
中学2年生(国)	216	74.5	15.3	12.0	24.1	11.1	7.9	4.6	4.6	3.2	
(県)	830	67.8	14.1	10.4	16.1	8.7	4.5	4.3	6.3	11.4	

※市の高校生世代は回答がないため、掲載していません。

※国・県の調査では他に「家族に対して偏見を持たれたくない」の選択肢があります。

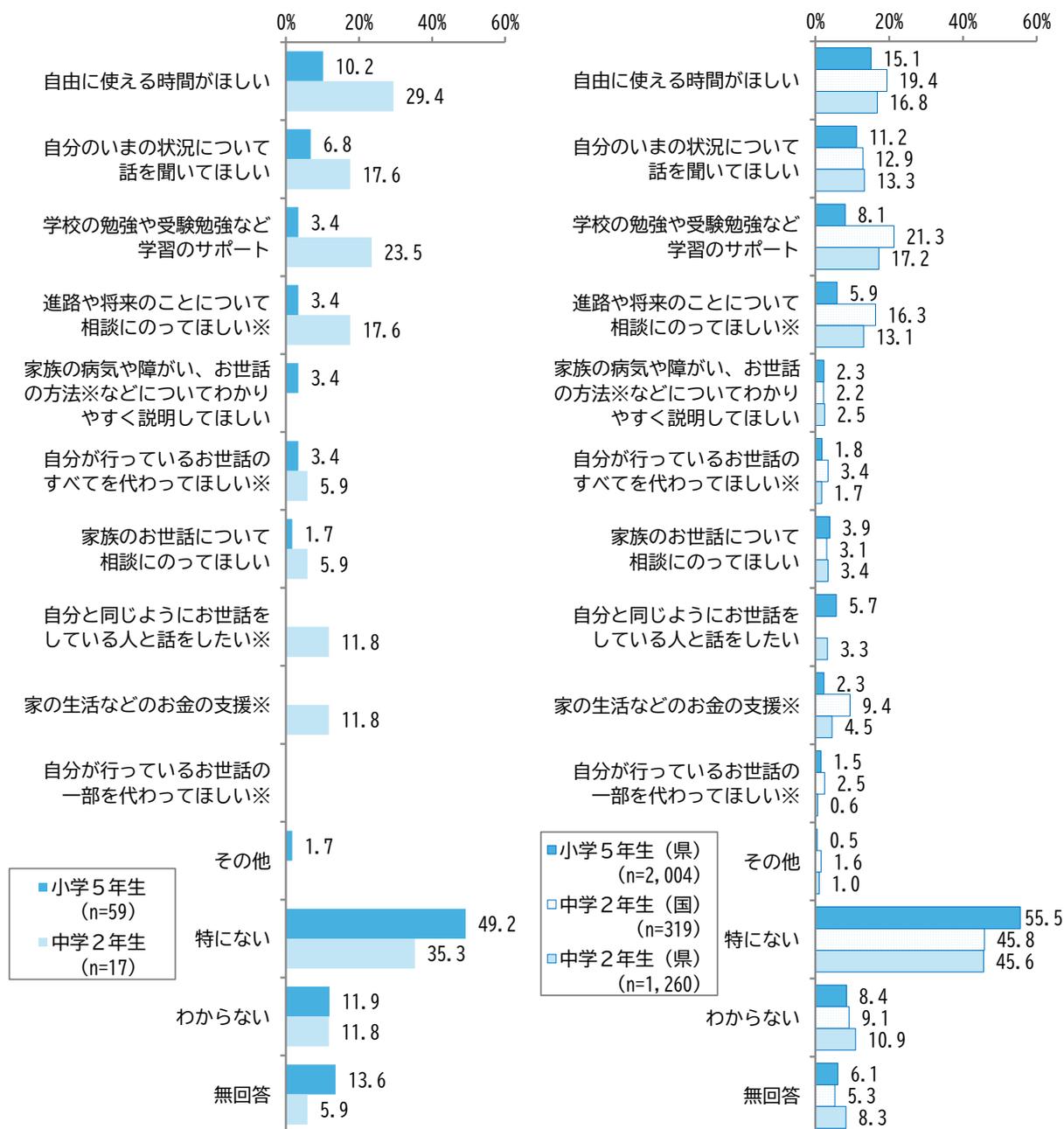
3-8 学校や周りの大人に助けてほしいことや必要な支援 ……………

問 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。
(選択はいくつでも)

(小学5年生：問 13、中学2年生：問 14、高校2年生世代：問 15)

- 学校や周りの大人に助けてほしいことや必要な支援は、小学5年生では「特にない」(49.2%)が最も高く、次いで「わからない」(11.9%)となっており、必要な支援では「自由に使える時間がほしい」(10.2%)、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」(6.8%)が高くなっています。中学2年生では「特にない」(35.3%)が最も高く、次いで「自由に使える時間がほしい」(29.4%)、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」(23.5%)となっています。
- 小学5年生について県と比べると、「特にない」に次いで県では「自由に使える時間がほしい」「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「わからない」の順で高く、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。
- 中学2年生について国・県と比べると、「特にない」に次いで国・県では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」「自由に使える時間がほしい」の順で高く、選択肢の順位に大きな差はみられませんでした。

図表 3-8 学校や周りの大人に助けてほしいことや必要な支援



※市の高校生世代は回答数が少ないため、掲載していません。

※「進路や将来のことについて相談にのってほしい」は中高生では「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「お世話の方法」は市の中高生及び国では「ケアのこと」、「代わってほしい」は市の中高生及び国では「代わってくれる人やサービスがほしい」、「自分と同じようにお世話をしている人と話をしたい」は市の中高生では「家族の世話をしている同じ境遇の人と話したい」、「家の生活などのお金の支援」は中高生では「家庭への経済的な支援」

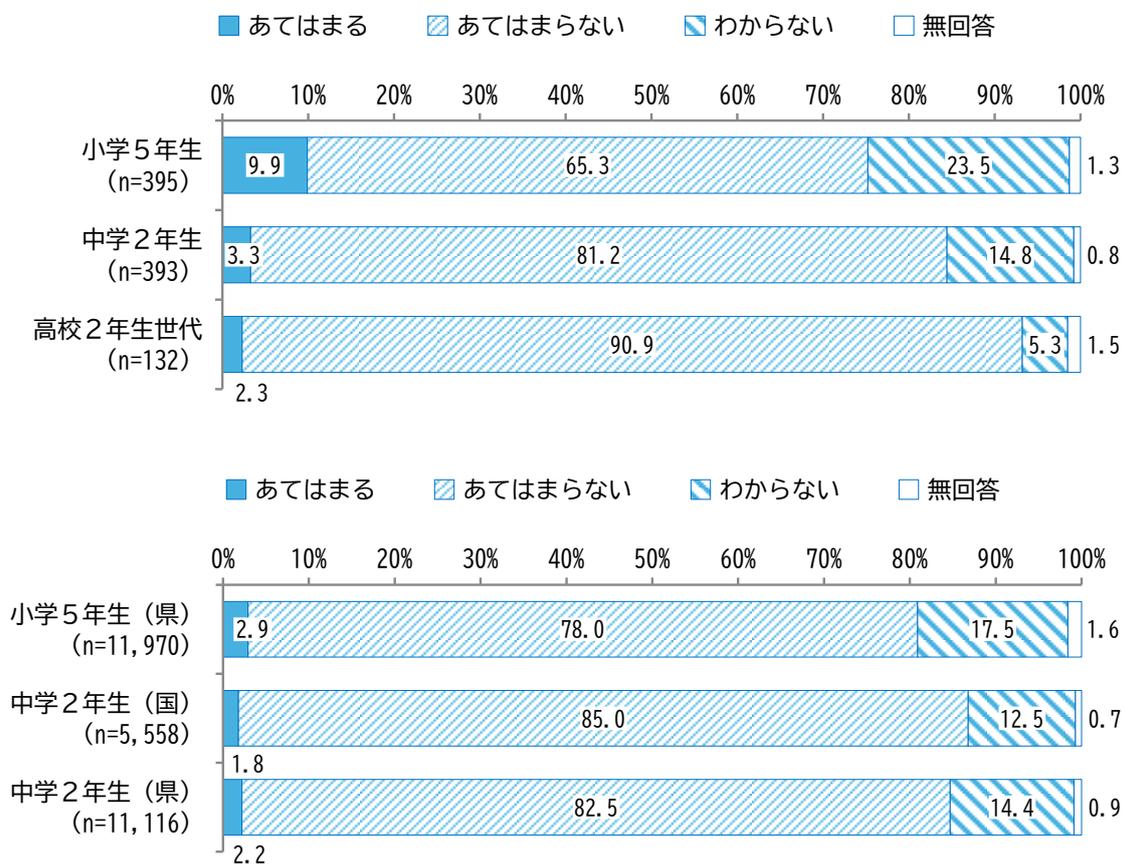
4 ヤングケアラーについて

4-1 自身がヤングケアラーにあてはまると思うか ……………

問 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(選択は1つ)
 (小学5年生：問 14、中学2年生：問 15、高校2年生世代：問 16)

- ▶ 自身がヤングケアラーにあてはまると思うかについては、いずれの年代でも「あてはまらない」が過半数を占めており、「あてはまる」は小学5年生で9.9% (39人)、中学2年生で3.3% (13人)、高校2年生世代で2.3% (3人) となっています。
- ▶ 小学5年生について県と比べると、大きな差はみられませんでした。
- ▶ 中学2年生について国・県と比べると、大きな差はみられませんでした。

図表 4-1 自身がヤングケアラーにあてはまると思うか

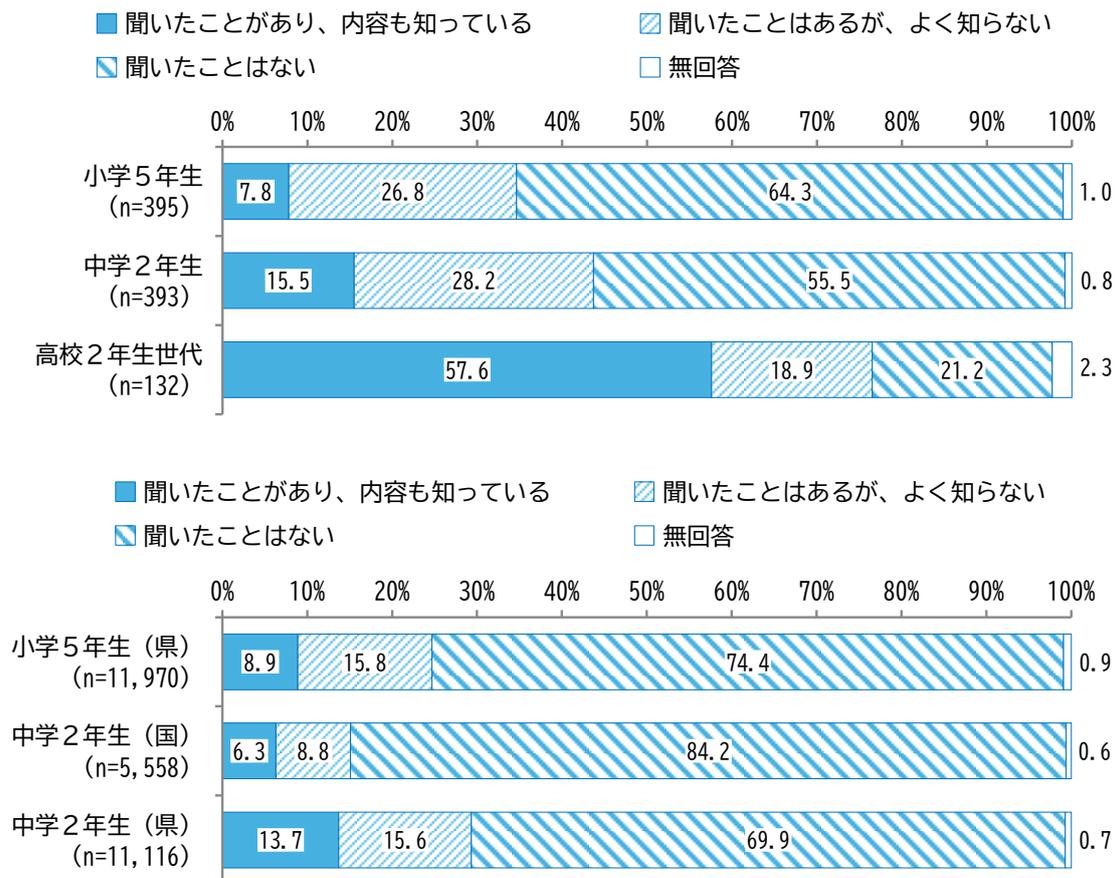


4-2 ヤングケアラーの認知度

問 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(選択は1つ)
 (小学5年生：問 15、中学2年生：問 16、高校2年生世代：問 17)

- ヤングケアラーの認知度については、小学5年生・中学2年生では「聞いたことはない」が過半数を占めており、「聞いたことがあり、内容も知っている」は小学5年生で7.8%、中学2年生で15.5%、高校2年生世代では過半数を占める57.6%となっています。また、『聞いたことがある』（「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」の計）は小学5年生で34.6%、中学2年生で43.7%、高校2年生世代で76.5%となっています。
- 小学5年生について県と比べると、『聞いたことがある』は県で24.7%となっています。
- 中学2年生について国・県と比べると、『聞いたことがある』は国で15.1%、県で29.3%となっています。

図表 4-2 ヤングケアラーの認知度



5 クロス集計結果

5-1 小学5年生・中学2年生のクロス集計結果

小学5年生・中学2年生の各設問について、「お世話をしている家族の有無」(P.12)、「お世話の辛さの有無」(P.26)、「ヤングケアラーの自己認識」(P.32)を分析軸としたクロス集計を行いました。

以下に、主要なクロス集計結果を掲載します。

※高校2年生世代は回答数が少ないため、クロス集計を実施していません。

【小学5年生のクロス集計結果】

- ▶ お世話をしている家族がいる人では、「特にない」「持ち物の忘れ物が多い」に次いで「宿題や課題ができていないことが多い」(23.7%)、「授業中にいねむりすることが多い」(20.3%)が高くなっています。

図表 5-1-1 お世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活【小学5年生】

	件数	持ち物の忘れ物が多い	提出物を出すのが遅れることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	授業中にいねむりすることが多い	授業中にいねむりする時間が少ない	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間	クラブ活動や習い事を休むことが多い	課外教室などの宿泊行事を欠席する	多保健室で過ごすことが多い	特にない	無回答
全体	395 100.0	102 25.8	59 14.9	56 14.2	34 8.6	20 5.1	11 2.8	8 2.0	4 1.0	4 1.0	243 61.5	4 1.0	
いる	59 100.0	19 32.2	9 15.3	14 23.7	12 20.3	7 11.9	4 6.8	2 3.4	2 3.4	2 3.4	26 44.1	-	
いない	328 100.0	82 25.0	49 14.9	41 12.5	22 6.7	13 4.0	7 2.1	6 1.8	1 0.3	1 0.3	212 64.6	3 0.9	

- お世話を辛さを感じている人では、お世話について相談経験が「ある」割合(66.7%)が「ない」割合(33.3%)を上回っています。

図表 5-1-2 お世話の辛さの有無×お世話についての相談経験の有無【小学5年生】

	件数	ある	ない	無回答
全体	59 100.0	18 30.5	32 54.2	9 15.3
『辛いと思うことがある』	9 100.0	6 66.7	3 33.3	- -
『辛いと思うことがない』	26 100.0	6 23.1	18 69.2	2 7.7
わからない	16 100.0	6 37.5	10 62.5	- -

- お世話をしている家族がいる人では、ヤングケアラーであると認識している割合(25.4%)が2割以上と高くなっています。
- お世話をしている家族がいる人でヤングケアラーでないと認識している人は 39.0%、自身がヤングケアラーかどうかわからない人は 33.9%となっています。

図表 5-1-3 お世話をしている家族の有無×ヤングケアラーの自己認識【小学5年生】

	件数	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
全体	395 100.0	39 9.9	258 65.3	93 23.5	5 1.3
いる	59 100.0	15 25.4	23 39.0	20 33.9	1 1.7
いない	328 100.0	23 7.0	230 70.1	71 21.6	4 1.2

【中学2年生のクロス集計結果】

- ▶ お世話をしている家族がいる人では、「提出物を出すのが遅れることが多い」(58.8%)が最も高く、次いで「宿題や課題ができていないことが多い」(41.2%)が高くなっています。

図表 5-1-6 お世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活【中学2年生】

	件数	持ち物の忘れ物が多い	提出物を出すのが遅れることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	授業中に居眠りすることが多い	部活動や習い事を休むことが多い	間や少ない	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が多い	保健室で過ごすことが多い	課外教室などの宿泊行事を欠席する	特にない	無回答
全体	393 100.0	113 28.8	111 28.2	84 21.4	56 14.2	34 8.7	14 3.6	4 1.0	1 0.3	200 50.9	5 1.3	
いる	17 100.0	6 35.3	10 58.8	7 41.2	5 29.4	3 17.6	5 29.4	1 5.9	-	4 23.5	-	
いない	373 100.0	106 28.4	100 26.8	76 20.4	51 13.7	30 8.0	9 2.4	3 0.8	1 0.3	195 52.3	4 1.1	

- ▶ お世話に辛さを感じている人のうち、お世話について相談経験が「ある」割合は 42.9% となっています。

図表 5-1-7 お世話の辛さの有無×お世話についての相談経験の有無【中学2年生】

	件数	ある	ない	無回答
全体	17 100.0	6 35.3	10 58.8	1 5.9
『辛いと思うことがある』	7 100.0	3 42.9	4 57.1	-
『辛いと思うことがない』	6 100.0	-	5 83.3	1 16.7
わからない	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-

- ▶ 家族のお世話をしている、かつヤングケアラーであると自己認識している人では、必要な支援として「特にない」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」の割合が高くなっています。

図表 5-1-10 ヤングケアラーの自己認識×必要な支援【中学2年生】

	件数	自由に使える時間がほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	家族の人と話をしている同じ境遇の人と話したい	家庭への経済的な支援	家族のお世話について相談にのってほしい	サービスがほしくてくれるお世話のすべを代わってくれる人話のサポート	自分が行っているお世話のすべを代わってくれる人話のすべを説明してほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどに詳しいわい、やす	家族の病気が障がい、ケアのことなどに詳しいわい、やす	自分が行っているお世話のすべを代わってくれる人話のすべを説明してほしい	その他	特にない	わからない	無回答
全体	17 100.0	5 29.4	4 23.5	3 17.6	3 17.6	2 11.8	2 11.8	1 5.9	1 5.9	-	-	-	-	6 35.3	2 11.8	1 5.9	
あてはまる	6 100.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	-	2 33.3	1 16.7	-	
あてはまらない	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 50.0	-	1 16.7	
わからない	4 100.0	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	

6 自由意見

6-1 自由意見

問 あなたの生活で「手伝ってほしい」「話を聞いてほしい」と思うこと、今日の授業を聞いて感じたことなど、思うことを自由に入力してください。
(小学5年生：問 16、中学2年生：問 17、高校2年生世代：問 18)

- ▶ 生活で手伝ってほしいことや話を聞いてほしいこと、ヤングケアラーについての授業を聞いて感じたことについては、以下のような回答がありました。内容別の件数は、下表のとおりです。
- ▶ 中学2年生では「身近にヤングケアラーがいたら助けてあげたい」(24.7%)という意見が、「ヤングケアラーの大変さがわかった」(27.9%)に次いで高くなっています。

図表 6-1 「手伝ってほしい」「話を聞いてほしい」と思うこと、授業を聞いて感じたこと

内 容	件数(下段は割合)		
	小5	中2	高2世代
ヤングケアラーの大変さがわかった かわいそう、自分になつたらいやだ、すごいと思った、 自分はやりたいことをやろう、親に感謝したい	78 38.8%	69 27.9%	-
ヤングケアラーがたくさんいることに驚いた 身近にもいそう、自分がいつなつてもおかしくない	8 4.0%	15 6.1%	-
身近にヤングケアラーがいたら助けてあげたい ヤングケアラーのお手伝いをしたい、理解してあげたい、 ヤングケアラーになったらお世話をちゃんとしたい	15 7.5%	61 24.7%	1 11.1%
ヤングケアラーのことを初めて知った そういう人がいるのかと驚いた、知れてよかった	36 17.9%	30 12.1%	-
ヤングケアラーは支援を求めてよい 無理をしないで相談することが大切、相談すればいい、 自分も悩みがあれば相談したい	12 6.0%	27 10.9%	-
今後はもっと家の手伝いをしていきたい ヤングケアラーも頑張っているの自分も頑張りたい、 ヤングケアラーになったときのために手伝いを頑張りたい	12 6.0%	16 6.5%	-
自分のことや悩みについて	31 15.4%	24 9.7%	8 88.9%
その他	9 4.5%	5 2.0%	-
合 計	201 100.0%	247 100.0%	9 100.0%

III. 津島市のヤングケアラーの現状と結果の考察

(1) 家族の世話をしているこどもの状況

家族のお世話をしている小学5年生は59人(14.9%)、中学2年生は17人(4.3%)、高校2年生世代は3人(2.3%)となっています。

お世話をしている相手は、小学5年生・中学2年生は「きょうだい」が最も多く、次いで「母親」となっています。

高校2年生世代では、3人ともに「母親」をあげています。

		第1位	第2位	第3位
小学5年生	59人	きょうだい(24人)	母親(21人)	父親・祖母(各14人)
中学2年生	17人	きょうだい(14人)	母親(4人)	父親(3人)
高校2年生年代	3人	母親(3人)	祖母(2人)	きょうだい・祖父・その他(各1人)

お世話を自分ひとりで担っている小学5年生は7人となり、お世話の頻度をみると、6人が「ほぼ毎日」、1人が「週に1~2日」と回答しています。

また、「ほぼ毎日」お世話を自分ひとりで担っている6人のうち3人は、1日3時間以上お世話をしていると回答しています。



ヤングケアラーへの支援については、まずは、こどもの世話の状況や家庭状況に大人が早期に気づき、見守る中で、支援が必要となった時には迅速に支援につなげられる体制が必要である。

特に、こどもと日常的に関わる学校の役割は大きく、学校で早期に気づいたヤングケアラーをこども家庭センターにつなぐとともに、関係機関と連携し日常的な見守りを継続することが必要である。

(2) 悩みや困っていること、相談の状況

現在の悩みや困りごとは、小学5年生では「特にない」(65.3%)が最も高く、次いで「勉強や成績のこと」(17.0%)となっています。

また、中学2年生では「特にない」(43.0%)、「学業成績のこと」(31.8%)の順で高く、高校2年生世代では「将来や進路のこと」(43.2%)、「特にない」(41.7%)の順で高くなっています。

悩みや困りごとがある人の相談相手の有無をみると、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」は小学5年生で44.8%、中学2年生で59.0%、高校2年生世代で62.2%となっています。

学年が上がるにつれ相談相手がいる状況です。

家族のお世話をしている小学5年生の59人うち18人がお世話について相談したことが「ある」と回答しています。

相談相手は大半が「家族」をあげていますが、4人は「学校の先生(保健室の先生以外)」「保健室の先生」「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」にも相談しています。

一方で、59人中32人は相談したことは「ない」と回答しており、そこには、お世話をするのに「つらさ」を感じている3人も含まれています。

家族のお世話をしている中学2年生の17人うち6人がお世話について相談したことが「ある」と回答しています。

6人のうち5人は「学校の先生(保健室の先生以外)」「保健室の先生」「塾や家庭教師、習い事の先生」の家族や友人以外にも相談をしています。

一方で、17人中10人は相談したことは「ない」と回答しており、そこには、お世話をするのに「つらさ」を感じている4人も含まれています。



こどもは、世話の影響を判断できず、相談ニーズも潜在化していることから、自分自身の状況に気づき、支援を求める可能性は低い。

相談をしたことがあるこどもでも、小学生では家族への相談にとどまることが多いことがわかった。中学生になると「学校の先生」など多様な相手に相談ができるが増える。

本市ではヤングケアラー授業の際に身近な相談先として、学校の先生、こども家庭センター、スクールソーシャルワーカー、民生児童委員、愛知県ライン相談等の相談窓口の周知をしている。相談体制の強化とともに、相談機関の更なる周知の重要性がうかがえる。

(3) ヤングケアラーの実態把握

家族のお世話をしている小学5年生は59人(14.9%)、中学2年生は17人(4.3%)、高校2年生世代は3人(2.3%)となっています。

自分はヤングケアラーに「あてはまる」と回答した小学5年生は39人(9.9%)、中学2年生は13人(3.3%)、高校2年生世代は3人(2.3%)となっています。

しかし、こどもが家族の世話をしている数に「お手伝いの範囲」と「ヤングケアラー」が混在している可能性が国の調査でも指摘されています。

「お手伝いの範囲」と「ヤングケアラー」とを判別しようとしたとき、お世話の「頻度が多く、長時間」であることが「ヤングケアラー」の特徴を示す条件として推察されます。

そのため、本調査では暫定的に下記の条件を「ヤングケアラー」と定義しました。

条件1・お世話をしている家族がいる、かつ、条件2・お世話の頻度が週に1～2日以上、かつ、条件3・平日のお世話時間が3時間以上とすると、小学5年生では21人(5.3%)が該当しています。

また、該当者のうち自身が「ヤングケアラー」に該当すると回答した児童は7人、該当しないと回答した児童は8人、わからないと回答した児童は6人となり、ヤングケアラーに該当する児童の6割以上はヤングケアラーの自認がない結果となっています。

中学2年生では、7人(1.7%)が該当しています。

また、該当者のうち自身が「ヤングケアラー」に該当すると回答した生徒は3人、該当しないと回答した生徒は2人、わからないと回答した生徒は1人、無回答が1人となり、5割以上はヤングケアラーの自認がない結果となっています。

高校2年生世代は、お世話の頻度と時間に無回答があるなど該当者の判別ができませんでした。また、家族のお世話をしていると回答した方のうち自身が「ヤングケアラー」に該当すると回答した方は1人となっています。

「ヤングケアラー」該当者のうち、お世話をすることに「つらさ」を感じている小学5年生は21人中4人、中学2年生では7人中4人となっています。



「世話をしている」児童・生徒の多くが「お手伝いの範囲」であり、「ヤングケアラー」として着目すべきはその一部(小学5年生では全体の5.3%、中学2年生では全体の1.7%)であった。また、その中で自分自身が「つらい」と感じている児童・生徒はさらに限られている。

しかし、「お手伝いの範囲」と考えられる児童・生徒が、現在は、生活等に影響はないものの、今後、家庭の状況が変化することでヤングケアラーとなり得ることを予測し、早期の状況把握が重要となる。

(4) 助けてほしいことや必要な支援

学校や周りの大人に助けてほしいことや必要な支援は、小学5年生では「自由に使える時間がほしい」(10.2%)、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」(6.8%)が高くなっています。

中学2年生では、「自由に使える時間がほしい」(29.4%)、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」(23.5%)となっています。

前項の「ヤングケアラー」該当者の小学5年生21人のうち14人は「特にない」と回答していますが、3人(14.2%)は「自由に使える時間がほしい」と回答しています。

中学2年生の7人では、「自由に使える時間がほしい」「進路や就職など将来の相談にのってほしい」「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」を上位にあげています。



「ケアの日常化」により子ども自身がヤングケアラーと認識していないため、支援を求めないことが懸念される。

また、ケアに時間を取られることで学習機会が失われ、進学を諦める、あるいは自分の希望よりも「家から通える範囲」を優先するなど、将来の選択肢が狭まるなどの教育格差の固定化とならない支援が重要である。

友人との交流時間が削られることで、同年代とのコミュニケーション経験が不足し、成人後の社会適応にも影響を及ぼす可能性がある。

子どもが担っている負担を軽減し、自分のために使える時間を確保し、子どもが将来に希望をもって生活できるような支援が求められる。

(5) ヤングケアラーの認知状況

ヤングケアラーの認知度については、小学5年生・中学2年生では「聞いたことはない」が過半数を占めており、「聞いたことがあり、内容も知っている」は小学5年生で7.8%、中学2年生で15.5%、高校2年生世代では過半数を占める57.6%となっています。

前項の「ヤングケアラー」該当者の小学5年生21人のうち8人はヤングケアラーという言葉「聞いたことはない」と回答しています。

中学2年生では7人のうち3人がヤングケアラーという言葉「聞いたことはない」と回答しています。



児童・生徒に対しても、ヤングケアラーについて正確な情報を伝えることが重要であり、こども自身が「自分はヤングケアラーかもしれない」と気づき、助けを求めても良いのだと理解することが最優先である。

そのためには、ヤングケアラーについての正確な情報の周知をするとともに、こどもと日々接点を有する学校等関係機関を通して気づいたヤングケアラーの情報をこども家庭センターで集約し、実態を把握することが必要である。

IV. 使用調査票

1 小学5年生調査

生活実態に関するアンケート調査（小学5年生用）

ご協力のお願い

このアンケート調査は、津島市内の小学5年生の方を対象に実施しており、みなさんに学校や家庭での生活状況のなかで抱える悩みや困りごとなどをお聞かせいただき、それらの解決に必要なことを検討するために行うものです。

みなさんの回答の一つ一つが参考になりますので、できるだけ多くの人の意見をお聞きしたいと考えています。

令和7年 津島市 こども家庭センター

～ご回答にあたってのお願い～

- 回答は、選択肢を選ぶ場合と、数字や具体的な内容を入力していただく場合があります。設問文にしたがってご回答ください。
- 答えたくない質問があれば、無理に答えていただく必要はありません。
- 回答内容を他の人に知られることはありません。
- 回答が終わっても、先生の指示があるまで席について待っててください。
- アンケートの回答画面に移りましたら、回答を入力してください。
- 回答の途中で一時中断する場合は、画面下にある「一時保存」ボタンを押すと自動的に回答内容が一時保存されて新たなURLが発行されます。回答を再開するときには、新たに発行されたURLからアクセスしてください。
- すべての回答の入力が終わりましたら、「登録」ボタンをクリックしてください。
「登録」ボタンをクリックすると入力ができなくなります。

この調査に関するお問い合わせ先

津島市 こども家庭センター 電話：24-0359

I 基本情報

問1 あなたの小学校名を教えてください。(回答は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|---------|----------|
| 1 東小学校 | 3 南小学校 | 5 神守小学校 | 7 高台寺小学校 |
| 2 西小学校 | 4 北小学校 | 6 蛭間小学校 | 8 神島田小学校 |

II ふだんの生活について

問2 学校への通学^{じょうきょう}状況などについて教えてください。(回答は1つずつ)

①出席^{じょうきょう}状況

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1 ほとんど欠席しない | 2 月に2日～3日欠席する | 3 月に4日以上欠席する |
|-------------|---------------|--------------|

②遅刻^{ちこく}や早退^{そうたい}の状況^{じょうきょう}

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1 ほとんどしない | 2 月に2日～3日する | 3 月に4日以上する |
|-----------|-------------|------------|

問3 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。
(回答はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 1 授業 ^{じゅぎょう} 中にいねむりすることが多い | 6 課外教室 ^{かがい} などの宿泊 ^{しゅくはく} 行事を欠席する |
| 2 宿題 ^{かだい} や課題ができていないことが多い | 7 保健室で過ごすことが多い |
| 3 持ち物 ^{もちもの} の忘れ物が多い | 8 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない |
| 4 クラブ活動や習い事を休むことが多い | 9 特にない |
| 5 提出物 ^{ていしゅつぶつ} を出すのが遅 ^{おく} れることが多い | |

問4 現在、悩んだり困っていることはありますか。（回答はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1 友人との関係のこと | 7 自分と家族との関係のこと |
| 2 勉強や成績のこと | 8 家族内の人間関係のこと
（両親の仲が良くないなど） |
| 3 進路のこと | 9 病気や障がいのある家族のこと |
| 4 学級費など学校で必要なお金のこと | 10 自分のために使える時間が少ない |
| 5 塾（通信教育含む）や習い事ができない | 11 その他（ ） |
| 6 （生活が苦しいなど）おうちのお金のこと | 12 特にない |

問5 問4で「12 特にない」以外のいずれかを回答した方にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。
（回答は1つ）

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1 相談相手や話を聞いてくれる人がいる | 3 相談や話はしたくない |
| 2 相談相手や話を聞いてくれる人がいない | |

b) お世話を必要としているおかあさん・おとうさんの^{じょうきょう}状況を教えてください。（回答はいくつでも）

- 1 65歳以上
- 2 介護（身の回りのお世話）が必要なじょうたい
- 3 にんちしょう（物をおぼえたり、考えたりする力が弱くなっている）
- 4 身体^{しんたい}障がい（手や足が自由にうごかない、目がみえない、耳がきこえないなど）
- 5 知的^{ちてき}障がい（文章を読んだりりかひすることがむずかしい、お釣りの計算が苦手など）
- 6 こころの病気 ※そうかもしれない時もふくみます。
- 7 日本語を話したり書いたりすることがむずかしい
- 8 その他（)
- 9 わからない

問7①で「3 おばあさん」あるいは「4 おじいさん」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（それぞれ回答はいくつでも）

- | | |
|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1 食事の用意や片付け、そうじ、せんたくなどの家事 | 6 目が ^{はな} 離せない家族の見守り |
| 2 きがえやおふろ、トイレの手伝いなど | 7 日本語や手話などコミュニケーションの手伝い、 ^{つうやく} 通訳 |
| 3 買い物、散歩など外出の付き添い | 8 お金をはらったり、家のお金の ^{かんり} 管理をする |
| 4 病院へいくことなど、通院の付き添い | 9 薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする |
| 5 話を聞く、話し相手になり、 ^{なや} 悩みや ^{こま} 困りごとなどを聞く | 10 その他（) |

b) お世話を必要としているおばあさん・おじいさんの^{じょうきょう}状況を教えてください。（回答はいくつでも）

- 1 65歳以上
- 2 介護が必要なじょうたい
- 3 にんちしょう（物をおぼえたり、考えたりする力が弱くなっている）
- 4 身体^{しんたい}障がい（手や足が自由にうごかない、目がみえない、耳がきこえないなど）
- 5 知的^{ちてき}障がい（文章を読んだりりかひすることがむずかしい、お釣りの計算が苦手など）
- 6 こころの病気 ※そうかもしれない時もふくみます。
- 7 日本語を話したり書いたりすることがむずかしい
- 8 その他（)
- 9 わからない

問7①で「5 きょうだい」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ回答はいくつでも)

1 食事の用意や片付け、そうじ、せんたくなどの家事	7 目が離せない家族の見守り
2 きょうだいの世話や保育所などへのおくりむかえ	8 日本語や手話などコミュニケーションの手伝い、通訳
3 きがえやおふろ、トイレの手伝いなど	9 お金をはらったり、家のお金の管理をする
4 買い物、散歩など外出の付き添い	10 薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする
5 病院へいくことなど、通院の付き添い	11 その他 ()
6 話を聞く、話し相手になり、悩みや困りごとなどを聞く	

b) お世話を必要としているきょうだいの状況を教えてください。(回答はいくつでも)

1 おさない(ちいさい)	
2 介護(身の回りのお世話)が必要なじょうたい	
3 にんちしょう(物をおぼえたり、考えたりする力が弱くなっている)	
4 身体障がい(手や足が自由にうごかない、目がみえない、耳がきこえないなど)	
5 知的障がい(文章を読んだりりかひすることがむずかしい、お釣りの計算が苦手など)	
6 こころの病気 ※そうかもしれない時もふくみます。	
7 日本語を話したり書いたりすることがむずかしい	
8 その他 ()	
9 わからない	

問7①で「6 その他」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ回答はいくつでも)

1 食事の用意や片付け、そうじ、せんたくなどの家事	7 目が離せない家族の見守り
2 きょうだいの世話や保育所などへのおくりむかえ	8 日本語や手話などコミュニケーションの手伝い、通訳
3 きがえやおふろ、トイレの手伝いなど	9 お金をはらったり、家のお金の管理をする
4 買い物、散歩など外出の付き添い	10 薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする
5 病院へいくことなど、通院の付き添い	11 その他 ()
6 話を聞く、話し相手になり、悩みや困りごとなどを聞く	

b) お世話を必要としている方の^{じょうきょう}状況を教えてください。(回答はいくつでも)

- 1 65歳以上
- 2 おさない(ちいさい)
- 3 介護(身の回りのお世話)が必要なじょうたい
- 4 にんちしょう(物をおぼえたり、考えたりする力が弱くなっている)
- 5 身体障がい(手や足が自由にうごかない、目がみえない、耳がきこえないなど)
- 6 知的障がい(文章を読んだりかきすることがむずかしい、お釣りの計算が苦手など)
- 7 こころの病気 ※そうかもしれない時もふくみます。
- 8 日本語を話したり書いたりすることがむずかしい
- 9 その他()
- 10 わからない

★③～⑤は、お世話をしている人が2人以上いる場合、全員まとめて教えてください。

③お世話は誰^{だれ}といっしょにしていますか。(回答はいくつでも)

- | | | |
|---------|----------|--------------------|
| 1 おかあさん | 5 きょうだい | 8 ふくしサービス(ヘルパーなど)を |
| 2 おとうさん | 6 しんせきの人 | つかっている |
| 3 おばあさん | 7 自分だけ | 9 その他() |
| 4 おじいさん | | |

④お世話をしている回数を教えてください。(回答は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週に1～2日 | 5 その他() |
| 2 週に3～5日 | 4 1か月に数日 | |

⑤平日(学校がある日)にお世話はどれくらい行っていますか。

()時間()分 ※時間は0～10、分は0・15・30・45から選択

問8 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。

(回答はいくつでも)

- 1 学校に行きたくても行けない
- 2 どうしても学校を遅刻・早退してしまう
- 3 宿題など勉強する時間がない
- 4 すいみん時間(ねる時間)が足りない
- 5 友人と遊ぶことができない
- 6 クラブ活動や習い事ができない、もしくはやめるしかなかった
- 7 自分の時間がない
- 8 その他()
- 9 特にない

問9 お世話をすることについて、「つらい」と思うことがありますか。(回答は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 よくつらいと思うことがある | 4 ほとんどつらいと思うことがない |
| 2 とくどきつらいと思うことがある | 5 わからない |
| 3 あまりつらいと思うことがない | |

問10 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(回答は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 ある →問11へ | 2 ない →問12へ |
|------------|------------|

問11 問10で「1 ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。

(回答はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1 家族(おかあさん、おとうさん、おばあさん、おじいさん、きょうだい) | 8 びょういんの先生やかんごし、その他のびょういんの人 |
| 2 しんせき(おじさん、おばさんなど) | 9 ヘルパーやケアマネ、ふくしサービスの人 |
| 3 友人 | 10 役所や保健センターの人 |
| 4 学校の先生(ほけん室の先生以外) | 11 近所の人 |
| 5 ほけん室の先生 | 12 SNS上での知り合い |
| 6 スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー | 13 電話相談(チャイルドラインあいちなど) |
| 7 塾や家庭教師、習い事の先生 | 14 その他() |

問 12 問 10 で「2 ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。（回答はいくつでも）

- 1 だれかに相談するほどの^{なや}悩みではない
- 2 家族以外の人に相談するような^{なや}悩みではない
- 3 だれに相談するのがよいかわからない
- 4 相談できる人がいない
- 5 家族のこのため話しにくい・話しづらい
- 6 家族のことを知られたくない（家族の病気や^{しょう}障がいのことを知られたくない）
- 7 相談しても^{じょうきょう}状況がかわるとは思わない
- 8 その他（)

問 13 学校やまわりの大人に助けてほしいことなどはありますか。（回答はいくつでも）

- 1 自分のいまの^{じょうきょう}状況について話を聞いてほしい
- 2 家族のお世話について相談にのってほしい
- 3 自分と同じようにお世話をしている人と話をしたい
- 4 家族の病気や^{しょう}障がい、お世話の方法などについてわかりやすく教えてほしい
- 5 自分が行っているお世話のすべてをかわってほしい
- 6 自分が行っているお世話の一部をかわってほしい
→具体的にどんなお世話、もしくはどんなときですか
()
- 7 自由に使える時間がほしい
- 8 進路や^{しょうらい}将来のことについて相談にのってほしい
- 9 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
- 10 家の生活などのお金の^{しえん}支援
- 11 その他 ()
- 12 特にない
- 13 わからない

IV ヤングケアラーについて

※ヤングケアラーとは

「ヤングケアラー」とは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども・若者」のことをいいます。

以下の図は、ヤングケアラーの例の一部を示したものです。

ヤングケアラーとは？

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話など日常的に行っているこども・若者のこと



★今回聞いた講話の内容を参考にしてお答えください。

問 14 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いませんか。（回答は1つ）

1 あてはまる

2 あてはまらない

3 わからない

問 15 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

(回答は1つ)

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3 聞いたことはない(今回の授業で初めて聞いた)

問 16 あなたの生活で「手伝ってほしい」「話を聞いてほしい」と思うこと、今日の授業を聞いて感じたことなど、思うことを自由に入力してください。

アンケートは以上です。ご協力^{きょうりょく}いただき、ありがとうございました。

生活実態に関するアンケート調査（中学2年生用）

ご協力をお願い

このアンケート調査は、津島市内の中学2年生の方を対象に実施しており、みなさんに学校や家庭での生活状況の中で抱える悩みや困りごとなどをお聞かせいただき、それらの解決に必要な支援策を検討するために行うものです。

みなさんの回答の一つ一つが参考になるものであり、より良い支援を検討していくためにも、できるだけ多くの人の意見をお聞きしたいと考えています。ぜひ、調査へのご協力をお願いいたします。

令和7年 津島市 こども家庭センター

～ご回答にあたってのお願い～

- 回答は、選択肢の番号を選ぶ場合と、数字や具体的な内容を入力していただく場合があります。設問文にしたがってご回答ください。
- 答えたくない質問があれば、無理に答えていただく必要はありません。
- 回答内容はデータを統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
- 回答が終わっても、先生の指示があるまで席について待っててください。
- アンケートの回答画面に移りましたら、回答を入力してください。
- 回答の途中で一時中断する場合は、画面下にある「一時保存」ボタンを押すと自動的に回答内容が一時保存されて新たなURLが発行されます。回答を再開する際には、新たに発行されたURLからアクセスしてください。
- すべての回答の入力が終わりましたら、「登録」ボタンをクリックしてください。「登録」ボタンをクリックすると入力ができなくなります。

この調査に関するお問い合わせ先

津島市 こども家庭センター

電話：24-0359

I 基本情報

問1 あなたの中学校名を教えてください。(選択は1つ)

- 1 天王中学校 2 藤浪中学校 3 神守中学校 4 暁中学校

II ふだんの生活について

問2 学校への通学状況等について教えてください。(選択は1つずつ)

①出席状況

- 1 ほとんど欠席しない 2 月に2日～3日欠席する 3 月に4日以上欠席する

②遅刻や早退の状況

- 1 ほとんどしない 2 月に2日～3日する 3 月に4日以上する

問3 部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(選択は1つ)

- 1 参加している 2 参加していない

問4 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。

(選択はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1 授業中に居眠りすることが多い | 6 課外教室などの宿泊行事を欠席する |
| 2 宿題や課題ができていないことが多い | 7 保健室で過ごすことが多い |
| 3 持ち物の忘れ物が多い | 8 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない |
| 4 部活動や習い事を休むことが多い | 9 特にない |
| 5 提出物を出すのが遅れることが多い | |

問5 現在、悩んだり困っていることはありますか。（選択はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1 友人との関係のこと | 8 自分と家族との関係のこと |
| 2 学業成績のこと | 9 家族内の人間関係のこと |
| 3 進路のこと | (両親の仲が良くないなど) |
| 4 部活動のこと | 10 病気や障がいのある家族のこと |
| 5 学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと | 11 自分のために使える時間が少ない |
| 6 塾（通信教育含む）や習い事ができない | 12 その他（ ） |
| 7 家庭の経済的状況のこと | 13 特にない |

問6 問5で1～12のいずれかを回答した方にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。（選択は1つ）

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1 相談相手や話を聞いてくれる人がいる | 3 相談や話はしたくない |
| 2 相談相手や話を聞いてくれる人がいない | |

Ⅲ 家庭や家族のことについて

問7 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（選択は1つ）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 いる →問8へ | 2 いない →問15へ |
|-----------|-------------|

問8 問7で「1 いる」と回答した方にお聞きします。お世話の状況についてお教えてください。

①お世話を必要としている方（選択はいくつでも）

- | | | | | | |
|------|------|------|------|---------|----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 祖母 | 4 祖父 | 5 きょうだい | 6 その他（ ） |
|------|------|------|------|---------|----------|

②お世話を必要としている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。
問8①で「1 母親」あるいは「2 父親」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ選択はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | 6 見守り |
| 2 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 7 通訳(日本語や手話など) |
| 3 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 8 金銭管理 |
| 4 通院の付き添い | 9 薬の管理 |
| 5 感情面のサポート
(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 10 その他
() |

b) お世話を必要としている母親・父親の状況を教えてください。(選択はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------------------------------|
| 1 65歳以上 |
| 2 要介護(介護が必要な状態) |
| 3 認知症(物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている) |
| 4 身体障がい(手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど) |
| 5 知的障がい(文章を読んで理解することがむずかしい、お釣りの計算が苦手など) |
| 6 精神疾患(疑い含む)
(気持ちが落ち込んでいてずっとねている、すぐに怒ったり泣いたりするなどの心の病気) |
| 7 日本語を話したり書いたりすることが難しい |
| 8 その他() |

問8①で「3 祖母」あるいは「4 祖父」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ選択はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | 6 見守り |
| 2 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 7 通訳(日本語や手話など) |
| 3 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 8 金銭管理 |
| 4 通院の付き添い | 9 薬の管理 |
| 5 感情面のサポート
(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 10 その他
() |

b) お世話を必要としている祖母・祖父の状況を教えてください。（選択はいくつでも）

- 1 65歳以上
- 2 要介護（介護が必要な状態）
- 3 認知症（物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている）
- 4 身体障がい（手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど）
- 5 知的障がい（文章を読んで理解することがむずかしい、お釣りの計算が苦手など）
- 6 精神疾患（疑い含む）
（気持ちが落ち込んでいてずっとねている、すぐに怒ったり泣いたりするなどの心の病気）
- 7 日本語を話したり書いたりすることが難しい
- 8 その他（）

問8①で「5 きょうだい」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（それぞれ選択はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------------|
| 1 家事（食事の準備や掃除、洗濯） | 7 見守り |
| 2 きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 8 通訳（日本語や手話など） |
| 3 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） | 9 金銭管理 |
| 4 外出の付き添い（買い物、散歩など） | 10 薬の管理 |
| 5 通院の付き添い | 11 その他 |
| 6 感情面のサポート
（愚痴を聞く、話し相手になるなど） | （ ） |

b) お世話を必要としているきょうだいの状況を教えてください。（選択はいくつでも）

- 1 若い
- 2 要介護（介護が必要な状態）
- 3 認知症（物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている）
- 4 身体障がい（手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど）
- 5 知的障がい（文章を読んで理解することがむずかしい、お釣りの計算が苦手など）
- 6 精神疾患（疑い含む）
（気持ちが落ち込んでいてずっとねている、すぐに怒ったり泣いたりするなどの心の病気）
- 7 日本語を話したり書いたりすることが難しい
- 8 その他（）

問8①で「6 その他」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ選択はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | 7 見守り |
| 2 きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 8 通訳(日本語や手話など) |
| 3 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 9 金銭管理 |
| 4 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 10 薬の管理 |
| 5 通院の付き添い | 11 その他 |
| 6 感情面のサポート
(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | () |

b) お世話を必要としている方の状況を教えてください。(選択はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------------------------------|
| 1 65歳以上 |
| 2 幼い |
| 3 要介護(介護が必要な状態) |
| 4 認知症(物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている) |
| 5 身体障がい(手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど) |
| 6 知的障がい(文章を読んで理解することがむずかしい、お釣りの計算が苦手など) |
| 7 精神疾患(疑い含む)
(気持ちが落ち込んでいてずっとねている、すぐに怒ったり泣いたりするなどの心の病気) |
| 8 日本語を話したり書いたりすることが難しい |
| 9 その他() |

★③～⑤は、お世話をしている人が2人以上いる場合、全員まとめて教えてください。

③お世話は誰と行っていますか。(選択はいくつでも)

- | | | |
|------|---------|---------------------|
| 1 母親 | 4 祖父 | 7 自分のみ |
| 2 父親 | 5 きょうだい | 8 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 |
| 3 祖母 | 6 親戚の人 | 9 その他() |

④お世話をしている頻度を教えてください。(選択は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週に1～2日 | 5 その他() |
| 2 週に3～5日 | 4 1か月に数日 | |

問 12 問 11 で「1 ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。
(選択はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1 家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい） | 8 学校の先輩 |
| 2 親戚（おじ、おばなど） | 9 医師や看護師、その他病院の人 |
| 3 友人 | 10 ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人 |
| 4 学校の先生（保健室の先生以外） | 11 役所や保健センターの人 |
| 5 保健室の先生 | 12 近所の人 |
| 6 スクールソーシャルワーカーや
スクールカウンセラー | 13 SNS上での知り合い |
| 7 塾や家庭教師、習い事の先生 | 14 電話相談（チャイルドラインあいちなど） |
| | 15 その他（ ） |

問 13 問 11 で「2 ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。（選択はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------------|
| 1 誰かに相談するほどの悩みではない | 6 家族のことを知られたくない（家族の
病気や障がいのことを知られたくない） |
| 2 家族外の人に相談するような悩みではない | 7 相談しても状況が変わるとは思わない |
| 3 誰に相談するのがよいかわからない | 8 その他（ ） |
| 4 相談できる人が身近にいない | |
| 5 家族のこのため話しにくい・話しぶらい | |

問 14 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。
(選択はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 1 自分のいまの状況について話を聞いてほしい | |
| 2 家族のお世話について相談にのってほしい | |
| 3 家族の世話をしている同じ境遇の人と話したい | |
| 4 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい | |
| 5 自分が行っているお世話の <u>すべて</u> を代わってくれる人やサービスがほしい | |
| 6 自分が行っているお世話の <u>一部</u> を代わってくれる人やサービスがほしい
→具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか
() | |
| 7 自由に使える時間がほしい | |
| 8 進路や就職など将来の相談にのってほしい | |
| 9 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート | |
| 10 家庭への経済的な支援 | |
| 11 その他（ ） | |
| 12 特にない | 13 わからない |

IV ヤングケアラーについて

※ヤングケアラーとは

「ヤングケアラー」とは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども・若者」のことをいいます。

以下の図は、ヤングケアラーの例の一部を示したものです。

ヤングケアラーとは？

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話など日常的に行っているこども・若者のこと



★今回の授業の内容を参考にしてお答えください。

問 15 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。（選択は1つ）

- 1 あてはまる 2 あてはまらない 3 わからない

問 16 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。
(選択は1つ)

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
2 聞いたことはあるが、よく知らない
3 聞いたことはない (今回の授業で初めて聞いた)

問 17 あなたの生活で「手伝ってほしい」「話を聞いてほしい」と思うこと、今日の授業を聞いて感じたことなど、思うことを自由に入力してください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

3 高校2年生世代調査

生活実態に関するアンケート調査（高校2年生世代用）

ご協力をお願い

このアンケート調査は、津島市内の高校2年生世代の方を対象に実施しており、みなさんに日常生活の中で抱える悩みや困りごとなどをお聞かせいただき、それらの解決に必要な支援策を検討するために行うものです。

みなさんの回答の一つ一つが参考になるものであり、より良い支援を検討していくためにも、できるだけ多くの人の意見をお聞きしたいと考えています。ぜひ、調査へのご協力をお願いいたします。

令和7年10月 津島市 こども家庭センター

～ご回答にあたってのお願い～

- 回答は、選択肢を選ぶ場合と、数字や具体的な内容を入力していただく場合があります。設問文にしたがってご回答ください。
- 答えたくない質問があれば、無理に答えていただく必要はありません。
- 回答内容はデータを統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
- アンケートの回答画面に移りましたら、回答を入力してください。
- 回答の途中で一時中断する場合は、画面下にある「一時保存」ボタンを押すと自動的に回答内容が一時保存されて新たなURLが発行されます。回答を再開する際には、新たに発行されたURLからアクセスしてください。
- すべての回答の入力が終わりましたら、「登録」ボタンをクリックしてください。「登録」ボタンをクリックすると入力ができなくなります。

この調査に関するお問い合わせ先

津島市 こども家庭センター

電話：24-0359

I 基本情報

問1 あなたの年齢を教えてください。(選択は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1 16歳 | 2 17歳 |
|-------|-------|

問2 あなたの現在の状況を教えてください。(選択は1つ)

※「家で働いている(親の手伝い、在宅ワーク等)」場合は「2 働いている」を選んでください。

- | | |
|----------|----------------------------------------|
| 1 通学している | 3 通学しながら働いている
(日中に仕事をして夜間は通学しているなど) |
| 2 働いている | 4 家にいる |

II ふだんの生活について

問3 通勤・通学状況等について教えてください。(選択は1つずつ)

①出勤・出席状況

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 ほとんど欠勤・欠席しない | 3 月に4日以上欠勤・欠席する |
| 2 月に2日～3日欠勤・欠席する | |

②遅刻や早退の状況

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1 ほとんどしない | 2 月に2日～3日する | 3 月に4日以上する |
|-----------|-------------|------------|

問4 部活動(学校外での活動を含む)または仕事以外の活動に参加していますか。

(選択は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 参加している | 2 参加していない |
|----------|-----------|

問5 ふだんの生活において、以下の中であてはまるものはありますか。
(選択はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1 仕事場や学校で居眠りすることが多い | 6 修学旅行などの宿泊行事を欠席する |
| 2 宿題や課題ができていないことが多い | 7 保健室で過ごすことが多い |
| 3 持ち物の忘れ物が多い | 8 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない |
| 4 部活動や習い事を休むことが多い | 9 特にない |
| 5 提出物を出すのが遅れることが多い | |

問6 現在、悩んだり困っていることはありますか。(選択はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1 友人との関係のこと | 8 自分と家族との関係のこと |
| 2 学業成績のこと | 9 家族内の人間関係のこと
(両親の仲が良くないなど) |
| 3 将来や進路のこと | 10 病気や障がいのある家族のこと |
| 4 部活動のこと | 11 自分のために使える時間が少ない |
| 5 学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと | 12 その他() |
| 6 塾(通信教育含む)や習い事ができない | 13 特にない |
| 7 家庭の経済的状況のこと | |

問7 問6で1～12のいずれかを回答した方にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(選択は1つ)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1 相談相手や話を聞いてくれる人がいる | 3 相談や話はしたくない |
| 2 相談相手や話を聞いてくれる人がいない | |

Ⅲ 家庭や家族のことについて

問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(選択は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 いる →問9へ | 2 いない →問16へ |
|-----------|-------------|

問9 問8で「1 いる」と回答した方にお聞きします。お世話の状況についてお教えください。

①お世話を必要としている方（選択はいくつでも）

1 母親 2 父親 3 祖母 4 祖父 5 きょうだい 6 その他

②お世話を必要としている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。問9①で「1 母親」あるいは「2 父親」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（それぞれ選択はいくつでも）

1 家事（食事の準備や掃除、洗濯）	6 見守り
2 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	7 通訳（日本語や手話など）
3 外出の付き添い（買い物、散歩など）	8 金銭管理
4 通院の付き添い	9 薬の管理
5 感情面のサポート （愚痴を聞く、話し相手になるなど）	10 その他 ()

b) お世話を必要としている母親・父親の状況を教えてください。（選択はいくつでも）

1 65歳以上
2 要介護（介護が必要な状態）
3 認知症（物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている）
4 身体障がい（手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど）
5 知的障がい（文章を読んで理解することがむずかしい、お釣りの計算が苦手など）
6 精神疾患（疑い含む）
（気持ちが落ち込んでいてずっとねている、すぐに怒ったり泣いたりするなどの心の病気）
7 日本語を話したり書いたりすることが難しい
8 その他 ()

問9①で「3 祖母」あるいは「4 祖父」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（それぞれ選択はいくつでも）

1 家事（食事の準備や掃除、洗濯）	6 見守り
2 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	7 通訳（日本語や手話など）
3 外出の付き添い（買い物、散歩など）	8 金銭管理
4 通院の付き添い	9 薬の管理
5 感情面のサポート （愚痴を聞く、話し相手になるなど）	10 その他 ()

b) お世話を必要としている祖母・祖父の状況を教えてください。（選択はいくつでも）

- 1 65歳以上
- 2 要介護（介護が必要な状態）
- 3 認知症（物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている）
- 4 身体障がい（手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど）
- 5 知的障がい（文章を読んで理解することがむずかしい、お釣りの計算が苦手など）
- 6 精神疾患（疑い含む）
（気持ちが落ち込んでいてずっとねている、すぐに怒ったり泣いたりするなどの心の病気）
- 7 日本語を話したり書いたりすることが難しい
- 8 その他（ ）

問9①で「5 きょうだい」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（それぞれ選択はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 家事（食事の準備や掃除、洗濯） | 7 見守り |
| 2 きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 8 通訳（日本語や手話など） |
| 3 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） | 9 金銭管理 |
| 4 外出の付き添い（買い物、散歩など） | 10 薬の管理 |
| 5 通院の付き添い | 11 その他 |
| 6 感情面のサポート
（愚痴を聞く、話し相手になるなど） | （ ） |

b) お世話を必要としているきょうだいの状況を教えてください。（選択はいくつでも）

- 1 若い
- 2 要介護（介護が必要な状態）
- 3 認知症（物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている）
- 4 身体障がい（手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど）
- 5 知的障がい（文章を読んで理解することがむずかしい、お釣りの計算が苦手など）
- 6 精神疾患（疑い含む）
（気持ちが落ち込んでいてずっとねている、すぐに怒ったり泣いたりするなどの心の病気）
- 7 日本語を話したり書いたりすることが難しい
- 8 その他（ ）

問9①で「6 その他」と回答した方にお聞きします。

a) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(それぞれ選択はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | 7 見守り |
| 2 きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 8 通訳(日本語や手話など) |
| 3 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 9 金銭管理 |
| 4 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 10 薬の管理 |
| 5 通院の付き添い | 11 その他 |
| 6 感情面のサポート
(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | () |

b) お世話を必要としている方の状況を教えてください。(選択はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------------------------------|
| 1 65歳以上 |
| 2 幼い |
| 3 要介護(介護が必要な状態) |
| 4 認知症(物を覚えたり、考えたりする力が弱くなっている) |
| 5 身体障がい(手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど) |
| 6 知的障がい(文章を読んで理解することがむずかしい、お釣りの計算が苦手など) |
| 7 精神疾患(疑い含む)
(気持ちが落ち込んでいてずっとねている、すぐに怒ったり泣いたりするなどの心の病気) |
| 8 日本語を話したり書いたりすることが難しい |
| 9 その他() |

★③～⑤は、お世話をしている人が2人以上いる場合、全員まとめて教えてください。

③お世話は誰と行っていますか。(選択はいくつでも)

- | | | |
|------|---------|---------------------|
| 1 母親 | 4 祖父 | 7 自分のみ |
| 2 父親 | 5 きょうだい | 8 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 |
| 3 祖母 | 6 親戚の人 | 9 その他() |

④お世話をしている頻度を教えてください。(選択は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週に1～2日 | 5 その他() |
| 2 週に3～5日 | 4 1か月に数日 | |

問 13 問 12 で「1 ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。
(選択はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1 家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい） | 8 学校や仕事先の先輩 |
| 2 親戚（おじ、おばなど） | 9 医師や看護師、その他病院の人 |
| 3 友人 | 10 ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人 |
| 4 学校の先生（保健室の先生以外）、
仕事先の上司 | 11 役所や保健センターの人 |
| 5 保健室の先生 | 12 近所の人 |
| 6 スクールソーシャルワーカーや
スクールカウンセラー | 13 SNS上での知り合い |
| 7 塾や家庭教師、習い事の先生 | 14 電話相談（チャイルドラインあいちなど） |
| | 15 その他（ ） |

問 14 問 12 で「2 ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。（選択はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------------|
| 1 誰かに相談するほどの悩みではない | 6 家族のことを知られたくない（家族の
病気や障がいのことを知られたくない） |
| 2 家族外の人に相談するような悩みではない | 7 相談しても状況が変わるとは思わない |
| 3 誰に相談するのがよいかわからない | 8 その他（ ） |
| 4 相談できる人が身近にいない | |
| 5 家族のこのため話しにくい・話づらい | |

問 15 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。
(選択はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 1 自分のいまの状況について話を聞いてほしい | |
| 2 家族のお世話について相談にのってほしい | |
| 3 家族の世話をしている同じ境遇の人と話したい | |
| 4 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい | |
| 5 自分が行っているお世話の <u>すべて</u> を代わってくれる人やサービスがほしい | |
| 6 自分が行っているお世話の <u>一部</u> を代わってくれる人やサービスがほしい
→具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか
() | |
| 7 自由に使える時間がほしい | |
| 8 進路や就職など将来の相談にのってほしい | |
| 9 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート | |
| 10 家庭への経済的な支援 | |
| 11 その他（ ） | |
| 12 特にない | 13 わからない |

IV ヤングケアラーについて

※ヤングケアラーとは

「ヤングケアラー」とは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども・若者」のことをいいます。

以下の図は、ヤングケアラーの例の一部を示したものです。

ヤングケアラーとは？

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話など日常的に行っているこども・若者のこと



問 16 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。（選択は1つ）

1 あてはまる

2 あてはまらない

3 わからない

問 17 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

（選択は1つ）

1 聞いたことがあり、内容も知っている

2 聞いたことはあるが、よく知らない

3 聞いたことはない（今回のアンケートで初めて知った）

問 18 あなたの生活で「手伝ってほしい」「話を聞いてほしい」と思うことを自由に入力してください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

ヤングケアラーについての相談窓口一覧

ヤングケアラーについての相談ができる窓口を紹介しています。

SNS で相談できる窓口と、市役所につながる電話番号、全国共通の電話番号、その他の様々な相談窓口があります。

家事や家族の世話などが大変で、悩みや不安を感じていたら、一度、相談してみませんか。

【相談窓口】

相談窓口名	電話番号	相談時間
津島市こども家庭センター	0567-24-0350	8:30~17:15 (平日) (祝日及び年末年始を除く)
児童相談所相談専用ダイヤル (近くの児童相談所につながります)	0120-189-783	24 時間・年中無休
子どもSOSほっとライン 24	0120-0-78310	24 時間・年中無休
こどもの人権 110 番	0120-007-110	8:30~17:15 (平日) (祝日及び年末年始を除く)

【SNS相談窓口】

相談窓口名	対象者	相談時間	URL等
愛知県「親子のための相談LINE」	名古屋市を除く愛知県内の市町村にお住いのこどもおよびその保護者、ヤングケアラー（18歳以上を含む）	10:00~22:00 (毎日)	https://line.me/R/ti/p/%40778asdia (外部サイト)

津島市
ヤングケアラー実態調査結果報告書

発行年月：令和8年3月

編集・発行：津島市 こども家庭センター

〒496-0863

愛知県津島市上之町1-60

TEL：0567-24-0350

FAX：0567-24-0522